

予算決算審査委員会報告書

令和5年3月14日

備前市議会議長 守 井 秀 龍 殿

委員長 森 本 洋 子

令和5年3月14日に委員会を開催したので、次のとおり議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第1号 令和5年度備前市一般会計予算（文教）	継続審査	—
議案第16号 令和4年度備前市一般会計補正予算（第12号）（文教）	継続審査	—

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第16号の審査（文教）	2
議案第1号の審査（文教）	21
閉会	73

予算決算審査委員会記録

招 集 日 時	令和5年3月14日（火）		午前9時30分	
開議・閉議	午前9時29分	開会	～	午後5時45分 閉会
場所・形態	委員会室	会期中（第1回定例会）の開催		
出 席 委 員	委員長	森本洋子	副委員長	草加忠弘
	委員	中西裕康		土器 豊
		尾川直行		立川 茂
		西上徳一		石原和人
		山本 成		青山孝樹
		藪内 靖		松本 仁
		内田敏憲		奥道光人
		丸山昭則		
欠 席 委 員		なし		
遅 参 委 員		なし		
早 退 委 員		なし		
列 席 者 等	議長	守井秀龍		
説 明 員	教育振興部長	石原史章	教育振興部次長 兼国際教育課長	草加浩一
	教育総務課長 兼教育プロジェクト推進課長	竹林伊久磨	小中一貫教育課長	谷口健一
	幼児教育課長	竹林幸作		
	社会教育部長 兼公民館活動課長	波多野靖成	教育文化振興課長	畑下昌代
	図書館事業推進室長	高橋清隆		
	国際教育推進部長 兼教育まちづくり推進部長	守屋孝治		
傍 聴 者	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審 査 記 録	次のとおり			

午前9時29分 開会

○森本委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は15名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会します。

審査に先立ち、委員長よりお願いがございます。

本日より4日間にわたり補正予算3議案と当初予算1議案を審査することになりますが、既にお手元に配付されている新規事業シート等各自十分に精査され、資料に記載されていることを質問されることのなきよう御協力願います。また、重複する質問も行わないよう、円滑な審査に御協力願います。

***** 議案第16号の審査（文教） *****

それでは、議案第16号令和4年度備前市一般会計補正予算（第12号）及び議案第1号令和5年度備前市一般会計予算のうち、文教関係の審査を行います。

まず初めに、議案第16号令和4年度備前市一般会計補正予算（第12号）から審査を行います。

議案書をお開きください。

補正予算書20ページからです。所管別分類表は8ページを開いてください。

まずは、歳入からで、文教関係は歳入のほうは一括で行いたいと思いますので、範囲は一括です。

質疑のある方は挙手をしてください。16号です。歳入のほうは審査範囲は一括としますので、歳入一括としますので。

○中西委員 20ページの教育費国庫補助金、学校建設費補助金4,151万7,000円減の理由ですけど、これはどれに当たるものだったのか、それとこの減額の理由について教えていただきたいと思います。

○竹林教育総務課長 こちらにつきましては、中学校のエアコン、トイレの工事に対する補助金でございましたが、小中一貫校の検討のため歳出を保留としておりますので、その関係での実績による減額になります。

○中西委員 小中一貫校の検討によるということになりますけども、実際にはこれはどこに充てるものだったんでしょうか。

○竹林教育総務課長 5校全部です。

○中西委員 5校というと、どここの学校になるんでしょう。

○竹林教育総務課長 中学校の5校でございます。

○中西委員 これはもう当初の予算にも上げないということになりますか。

○竹林教育総務課長 令和5年の当初予算ということでございましたら、計上はしておりません。

○中西委員 この国庫補助金を結局備前市は、こういう事業をやるので補助金をお願いしますということをお願いしているわけですが、国に対してはどうなのでしょう。どのようにお断りの理由をされたのでしょうか。

○竹林教育総務課長 今申し上げたような小中一貫校の検討の必要が出てきたというところで、取下げの話をしております。

○中西委員 国の予算として県を通じてこれだけの配分を備前市はいただいているわけですが、恐らくこれだけお返しをするという形としてはなるのかなと、四千万円何がしかの金が浮いてしまったと、これに対して県のほうはどのように、いや、よく備前市はお金を浮かしてくれたなというお考えなのでしょうか。

○竹林教育総務課長 県の担当、国庫への窓口の担当課にも説明に行きまして、丁寧に説明をしてきたところでございます。そういうところで、一定の理解は得られたものと思っております。

○中西委員 その下の20ページの教育費国庫補助金、文化財保護費の補助金、この歴史いきいき施設等総合活用事業整備補助金、何でこれだけのお金が残ったのか、教えていただきたい。

○畑下教育文化振興課長 これにつきましては、窯跡史跡の備前焼の窯跡の整備計画、基本計画を策定するために国庫の補助金を申請しておりましたが、この基本計画を策定できなかったため、ここのお金が使えなかったということで減にしております。

○中西委員 どういう理由でこの計画ができなかったんですか。さっきのところでもありましたけども、学校整備のエアコンとかトイレとか等々ありますけど、これは国庫補助金を無理を言っつけていただいているところなんで、そうやすやすと返すものではないと思いますので、その理由についてお聞かせいただきたいと思います。

○畑下教育文化振興課長 国からいただいた補助金なので、活用して整備を進めていきたくったのですが、今回この基本計画の策定の計画まで及ばなかったもので、今後以降県とか国とかも相談させていただいて、この企画は進めていきたいと思っている企画なので、今後もしお願いしてやっていきたいと思っております。

○中西委員 今年度、これで返還するわけですが、来年度あるいは再来年度も国のほうがそういう返還をしたところに対してやすやすと、またこの補助金をつけてもらえるものなのでしょうか。

○畑下教育文化振興課長 御心配するところもあるのですが、一応これにつきましても国とか県の方と御相談させていただいて今回はできませんでしたが、今後は検討してまいりますということでお話はさせていただいております。

○中西委員 これは令和5年度の当初の予算には上がっているのでしょうか。

○畑下教育文化振興課長 今回は上がっておりません。

○西上委員 同じ21ページで、6節の学校管理費補助金の一番上のへき地児童生徒援助費等補助金375万円の補助金の減額ということで、詳細を教えてください。

○**竹林教育総務課長** スクールバスの購入費に対する補助金になっております。今年度スクールバスとして1台更新予定にしておりましたが、別の路線のバスが急遽故障しまして車検も通せないような状況になったところを先に整備しようということで、国庫補助金の付け替え、対象路線の付け替えをお願いをしておりましたが、どうしても国庫補助金でそれを認めていただけない状況になりまして、改めて令和5年度でその先に整備したい車両の予算を計上しまして、国庫補助金の申請のし直しということにもなりましたので、このたびにつきましては執行ができずに国庫補助金についても減額という流れになっております。

○**西上委員** この僻地の条件というのは。

○**竹林教育総務課長** 過疎地域ですと対象ですので、市内ではどこの路線でも対象になっております。

○**尾川委員** 21ページの文化財保護費の補助金、こういう中止のとき、事業をやめたという場合に例えば、やめる方法というのはどうされとんですか。

○**畑下教育文化振興課長** やめる方法というよりも、一応うちのほうでこれを計画していく中でちょっと難くなったということで途中県に御相談させていただいて、もう決定をいただいているものなので、これについてはどういった対応をとということで国からの補助金ということもありますし、国のほうへもそういう理由等をお話しに行ったりとかという経緯があるんですが、今回の場合は最初から国の方と御相談して進めていたものだったので、うちのほうでこういった経緯でという理由をお伝えして、今回についてはもう仕方がないですねということでお話はいただいています。

○**尾川委員** 当初に計画して計画書を出しとるわけでしょう。それで、学芸員とか、それから文化財保護審議委員とか、そういう人の絡みがあるんかという質問しよんですよ。勝手に課長が決めて、できそうにねえ、みんな学芸員も手いっぱいだからできんというてやめるんですかということ聞きよんですけど。

○**畑下教育文化振興課長** もちろん私の一存ではそういうことはできませんので、学芸員と相談し、それからこれは窯跡の関係になるんですが、その委員さんたちとの関係もありますので、いろいろそういう中で相談させていただいて、いろいろ検討した中でこういう結果になってしまったということになります。

○**尾川委員** 文化財保護審議委員はどねんなんですか。

○**畑下教育文化振興課長** 文化財保護委員さんにも相談するものでもありますし、またこれは窯跡の委員さん、別のまた委員会がこれございますので、そちらにも御相談するものでもあります。

○**尾川委員** はっきり言わせてもろうたら、文化財保護審議委員一回も会合ねえというて聞いとんですよ。そういう状態で備前市の文化財保存とか、そういうことが進むんかどうか、疑問なんですよ。この話あんまりみんなの前で言うのおかしいんですけど、そういうふうな実態、部長ど

ねん思うとんか。そういう実態があつて、どこでほんなら学芸員と相談して、もういっぱいだから学芸員がでkindと云うたらやめてしまうような事業ですか。

○波多野社会教育部長 実際に言う学芸員の仕事の状態、それから意見は職員として最初に聞くものではございます。その後、最初課長が申し上げたように、文化財保護審議会委員の中でも窯跡の専門の先生方、最終的には委員長に相談させて今回の決定に至った次第でございます。

○尾川委員 委員長は了解したと、もう仕方ねえなということなんですか。

○波多野社会教育部長 そのとおりでございます。それから、先ほどの委員の指摘どおり、文化財保護審議会委員会が開けてないというのは、これは私どもの落ち度でございますので、きちっとした会議全体の了承を経るとするのは大事なことと思っております。

○中西委員 私は、このところで初めてこういうのを見たんですけども、所管の厚生文教委員会の中でもこれはやっぱしどうしてこうなってるんかというのは、きっちり報告していただいていたほうがいいんじゃないかと、委員の私が聞かないといけないという形になりますし、教育委員会からの報告事項ということで、私はこれは所管の委員会へぜひこういったものはあらかじめ報告をしていただきたいなと思ひます。これ御返答いただきたいと思ひます。

○波多野社会教育部長 やはり国庫補助を辞退するというのは大変重い事態と認識しております。この件だけでなく、ほかの件も含めまして教育庁全体の中で報告のほうは怠らないように努めてまいります。

○中西委員 私はもう金額的にはこの学校のほうが大きいと思ひるので、学校のほうも含めて御返答いただひておきたいと思ひます。

○石原教育振興部長 御指摘のとおりであろうかと捉えております。今後は、このように所管の委員会での報告、努めてまいりたいと思ひます。

○石原委員 21ページの学校管理費補助金で、先ほど僻地についてもありましたけれども、その下の公立学校情報機器整備費補助金、それから1個飛んで学校のICTを活用した授業環境高度化推進事業費補助金、こちらはいずれもたしか当初予算の金額そのまま減額になつてくると思ひますけれども、こちらについての状況であつたりをお聞かせいただければと思ひます。

○竹林教育総務課長 まず、公立学校情報機器整備費補助金につきましては、当初補助対象になると見込まれておりました事業だつたんですが、実際補助対象にならないということで、事業そのものはやっております。GIGAスクールのサポーターの配置事業ですとか、そういったところに対する補助金でございましたが、補助対象の要件に合う事業ではなかつたということで、今回補助金の対象外ということで減額になっております。

もう一点、学校のICTを活用した授業環境高度化推進事業費補助金につきましては、歳出側で減額しておりますが、電子黒板、学校のパソコンとモニターの更新経費を計上していたところなんです、令和5年度でフューチャー classroomsの整備に検討し直した結果、執行しないこととなりましたので、その関係での減額になっております。

○石原委員 行政のプロの皆さん方が、財政当局含め予算編成をされ提案に至って執行の流れですけれど、先ほどおっしゃった公立学校に関する補助金でGIGAスクール絡みですか、当初は国庫補助の対象であろうというお見込みで、けれども実際のところは対象外であった、ちょっと何か不安がよぎるような、よくあることなんですか、こういうこと。

○竹林教育総務課長 本来よくあるようなことではないと思います。

○石原教育振興部長 私のほうから補足をさせていただきたいと思います。

当初は、単独の自治体で補助対象になります、それから広域で取り組んでいる自治体を対象にしていますという2本立てのような説明がございました。なので、備前市で単独で申請の準備をしていたところでした。ところが、国のほうが、広域の自治体での取組しか採用しないというような方針が後から出てまいりましたので、結果的には単独の申請であった備前市の事業というものが対象外となってしまったということで、私どもとしては国の方針が途中で変わってしまったことによるという背景があったということをお補足しておきたいと思います。

○石原委員 それから、一番下のICTを活用した関係の補助金、先ほど当初はパソコン、モニターの更新を予定しておったけれども、途中で電子黒板ですか、フューチャールームの整備に方針転換を図られた御説明ございましたけれども、大きな方針転換が図られたのって時期でいうといつ頃、その方針変更、転換が決定されたのでしょうか。

○竹林教育総務課長 当初予算の編成過程においてです。

○石原委員 令和5年度の当初予算の編成過程で。

○竹林教育総務課長 令和5年度のです。

○尾川委員 29ページ、入場料及び参加料、文化事業鑑賞会等入場料を説明してください。

○波多野社会教育部長 この件に関しましては、もともと公民館の3つの館でそれぞれ文化事業鑑賞会を行う予定でしたが、皆さん御存じのとおり昨年度教育文化振興課所管における備前市総合芸術文化祭ということで一まとめにした関係もございまして、そもそも公民館単独では200円、300円等の入場料をいただく予定にしておりましたが、岡山フィルハーモニックあるいは落語鑑賞会を無料で行ったため、この歳入を落としたものでございます。

○尾川委員 どういう発想で無料にしたんですか。

○波多野社会教育部長 初めての総合文化祭でもあるところから、ぜひ多くの市民に興味関心のない方でも来ていただきたいという発想から無料といたしました。

○尾川委員 今後はどう考えられて、こういう企画をされる予定の計画なんですか。

○波多野社会教育部長 第1回目は無料ということで行いましたが、その後アンケートあるいは芸術文化の関係の方から、ほかの文化講演あるいは落語公演にしましても音楽コンサートにしましても有料で行っている中、行政が無料のこういった鑑賞会を続けるというのはいかがなものかというような御意見も頂戴しております。ものによりましては、入場料をいただいた上でやっていくことも視野に入れていきたいと思っています。

○尾川委員 どのくらいを考えて入場料と言うわけ。

○波多野社会教育部長 私ども行政で行う限りでは、一般のコンサートの例えば4,000円、5,000円というような高額なものではなく、今まで文化事業鑑賞会を公民館でやっていたような500円までが妥当かなと思っております。

○尾川委員 ボランティアでいろんな団体が開催してやる場合があるでしょう。その辺民業圧迫とは言わんですけど、そのあたりの考え方というのは500円が妥当と考えとるわけ。

○波多野社会教育部長 例えば市民センター、中央公民館の登録団体であれば、ホール等は減免になっております。それを減免するに当たりまして、事業規模か否かというようなところを判断したいと思います。例えば予算書を見せていただく等いたしまして、その劇団あるいはそのコンサートに必要な経費というところで判断したいと思います。

○中西委員 文化事業鑑賞等入場料、これは令和5年の当初の中に残っているのでしょうか。

○波多野社会教育部長 今後の機構改革におきまして、文化芸術振興財団に移行する予定になっております。そちらのほうで備前市総合芸術文化祭を行うようになっておりますので、私どものほうからの直接計上はございません。財団において入場料を取る場合は、財団の予算という形になります。

○中西委員 先ほどの御説明だと、公民館で入場料取る企画があると、しかし今年は新しい市民芸術祭ですか、大きな事業が入った、その関係で入場料がなくなる、事業の整合性というのはどのように教育委員会としてはお考えになっておられるのでしょうか。もともとこれの企画がありながら新しい企画が入ってこれがなくなると、そのあたりのその年間の事業の整合性です。

○波多野社会教育部長 令和4年度はそれぞれ公民館でやっている文化祭、それから教育文化振興課で行います文化行事等、これはあの課、これはあの課というようなことを教育庁の構想により備前市の文化祭、文化芸術祭というのを一本化しようということで令和4年度にスタートしております。その方向性は、公民館の各文化祭も含めまして、令和5年度も9月から11月末までの行事を備前総合芸術文化祭として行う方向性でございます。

○立川委員 28、29で奨学金の基金繰入金、奨学金、奥橋基金、申込みが減ったんですか。何か絞ったりとか、その辺の原因について御説明いただけますか。

○波多野社会教育部長 奨学金の貸付事業でございますが、令和3年度に私どもが想定している倍近い申込みがありまして、令和4年度もその流れを受けて全部で新規申込みを10人と考えておりましたが、実際のところ申込み自体が6人でしたので、支出を含めて基金に回す分が減額になったということでございます。

○立川委員 申込みが予定より少なかったと、ひょっとして絞ったのかなという気はしたんですけど、これのPRはどういうところを通じてされていきましたか。

○波多野社会教育部長 この通常の奨学金にプラスしまして、令和4年度からスタートいたしました給付型の篤志奨学金というものもございます。これは特に中学の校長あるいは近隣の高校、そ

れから大学のほうにもホームページ案内等でPRさせていただきまして、申込みをもっと拡大したいと思っています。

○立川委員 しっかり支援ができるようにお願いしたいなと思います。

○森本委員長 歳入はよろしいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳出に移らせていただきます。

議案書の42ページを開いてください。所管別分類表は10ページです。

範囲は、まず初めに、4目の保育幼稚園費だけを範囲とします。42、43ページです。

○尾川委員 43ページの報酬と給料について、かなり減額になっとなんですけど、これについては定員割れというか、そのあたり説明していただきたいんですけど。

○竹林幼児教育課長 見込んでいた人数から、採用等も含めて人数の減ということになっております。保育教諭関係で言いますと、令和3年4月1日が73名おられたんですけども、4年4月1日現在におきましては67名というような動きとなっております。その辺も踏まえて、減額させていただいております。

○尾川委員 73が実態は67ということで、充足できなんだという考え方が、それとももうこれで走れたんじゃということなんですか。

○竹林幼児教育課長 まだまだこちらとしては、充足までは至っていないと思っております。今後も、引き続き採用に向けて募集活動等を実施していくこととしております。

○尾川委員 6名ぐらい誤差の範囲じゃないんですか。

○竹林幼児教育課長 実際の動きとしては6名減ということなんですけども、予算上はプラスもう補充の必要な人数というところでの見込みを予算上は立てておりましたけども、そこまでに達しなかったということでございます。

○青山委員 13節の委託料の人材派遣業務委託料、1,430万5,000円とかなり多い減額なんですけど、内容、委託先と減額理由を教えてください。

○竹林幼児教育課長 こちらのほうも、保育教諭等の確保に向けて令和4年度派遣業務の委託ということでお願いをさせていただいていたところでございます。県内の派遣業者さん等を通じて募集をかけてきたところなんですけども、その辺の採用に至らずというところで今回減額させていただいております。

○青山委員 委託先は。

○竹林幼児教育課長 県内の派遣業者グロップさんをお願いをしていたところでございます。

○中西委員 42ページの保育幼稚園費の報酬、給料、委託料で人材派遣業務委託料、これは人数になってくると思うんですが、この人材派遣で派遣されてきた保育教諭というのは何人おられるのでしょうか。

○竹林幼児教育課長 募集をお願いしていたところなんですけども、採用には至っておりませ

ん。

○中西委員 当初の予算では、1, 700万円からの予算でしたよね。300万円ほどは、途中で補正されたんですか。

○竹林幼児教育課長 こちらの補正予算を編成する段階での見込みということで、減額は10か月分ということで今回補正予算には計上させていただいておるんですけども、その後も現時点では採用には至っていないというところでございます。

○中西委員 それで、本会議の一般質問でもこの問題は取り上げられて、保育園に入れない、受けられない、それはやっぱり人の問題だという、鋭意大変教育委員会としては努力してまいります、努力しておりますという御答弁はたくさんいただいているんですけど、この数字で見るとなかなか人が集まってない、そのことによって受入れができないという事態がずっと続いていると、どうこのところは打開しようと、来年度も今と同じようなことをやっていたんじゃ、また同じことだと、保育園に入れない子たちがいるということになってくるわけですけど、ここはどのように打開策を考えておられるんですか。

○竹林幼児教育課長 こちらの人材派遣の活用ということも令和4年度に新たに試みてはみたんですけども、なかなか結果が得られなかったというところでございます。今後は、こちらの会計年度任用職員の採用、それから正規職員の採用の確保というところに向けて引き続き関係機関等へのお願い、情報共有等も図っていきたいと考えております。

○石原委員 保育士の先生の人数のところございましたけれども、たしか年度当初で67名おられてでしたかね。その後、令和4年度まだ3月、この時期ですけれども、現時点で令和4年でその後どのような動きがあって現時点で何名先生方おられるのでしょうか。

○竹林幼児教育課長 おおむね令和4年度中は、その数値で推移はしております。また、来年度幾らか退職、それから採用等というところで今現状、そういった事務が進められているところでございます。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は、58ページを開いてください。

10款教育費の1項教育総務費から63ページの4項の高等学校費までを範囲といたします。

○中西委員 60ページの学校管理費の委託料、ALTの配置事業委託料、290万1,000円が減額されているんですけど、どこか配置がなかったところがあるんか、と同時にこの290万円のその理由についてお聞かせいただきたいと思います。

○谷口小中一貫教育課長 配置は全校できておりました。ALTが実績払いとなっておりまして、お休みをされると給料に反映されないということになります。今回も、減額についてはALTの先生方のお休みによるものということになります。

○中西委員 これは日数にすると、何日分ぐらいになるんでしょう。

○谷口小中一貫教育課長 合算のもので今お示ししているのもので、各校でそれぞれALTの方が何日ずつ休まれたかというところ今手持ちでございません。

○中西委員 特定の方ではなくて、それぞればらばらに休みがあると思ってよろしいですか。

○谷口小中一貫教育課長 そのとおりでございます。

○中西委員 その下の備品購入費、これは例の電子黒板か何かになるんですか。

○竹林教育総務課長 全額、パソコンとモニターの更新経費になります。

○中西委員 パソコンを更新しなければいけなかったと。しかし、ここで減額をしているということは、パソコンが更新されなかった。更新をしなかった理由は何なんでしょうか。

○竹林教育総務課長 令和5年度においてフューチャークラスルームの整備に伴いまして、電子黒板の導入ということで考えております。

○中西委員 これは電子黒板なんですかと聞いたら違いますと、パソコンの更新でしたということと言われたんだけど、パソコンと電子黒板どう違う、一緒なんですか。

○竹林教育総務課長 電子黒板といいますのは、大型のモニター、ディスプレイといいますか、そちらに画面に手とかでタッチして操作できるようなものになっております。そういったものを教室の児童・生徒の人数に合わせて1台なり2台なりというのを配置しまして、グループ学習ですとか、一人一人に配っておりますタブレットの情報をそちらの大型の電子黒板のほうに投影といいますか、映し出して授業で活用するようなイメージでございます。

○中西委員 となると、パソコンの更新と言われたんですけども、電子黒板の更新をする予定だったけども、その内容についてもう一回精査をしたということなんですか。

○竹林教育総務課長 今使っているモニターというのは、そういったタッチして操作とかというのはできない、本当にテレビのように映すだけのようなものですので、使い方が変わってくる、役割が違うということでございます。

○中西委員 つまり当初で上げたものは、手でタッチするようなものではなかったと、今までどおりのものを計上していたと、ところがどこかのときにその手でやったほうがいいよという話になったということなんですか。

○竹林教育総務課長 過去に、フューチャークラスルームというのを各学校1教室だけ整備してきた経緯がございます。そういった機能を各普通教室に備えるというような形になります。

○中西委員 ぼつぼつとしか何かあまり中身は明かさないという教育委員会の基本的な方針のような感じですけども、だったら当初の予算は何だったんかということになってくるじゃないですか。これでいきますよ、皆さん認めてくださいということで予算上げてきて、それはそれでいいでしょうと、電子黒板更新します、しかし年度の途中進んでいたら話が変わってきたんで減額補正して当初でまた上げていきますというような話で、そういう話をずっとされると議会は何なんかということになってくるじゃないですか。やっぱしきちんとした説明を委員会なりに、私はすべきだと思うんですよ。どうですか。こんな予算出してこられて、今度当初でまた出てくると、

また新しい進化した電子黒板じゃないといけないということで変更になったと、こんなことを繰り返されたんじゃ、議会は何のために審議をして議決をしているんかということになってくるんじゃないですか。そのことについては、教育委員会どのように考えておられるんですか。

○石原教育振興部長 まず、中西委員の御指摘につきましては、私どもとしましては真摯に受け止めなければならないと思っております。御指摘のように、そういう方針なり方向性が変わるのであれば、委員会でも報告をということにつきましてはごもっともであると捉えているところでございます。今回の減額につきましても、いろいろ教育庁部署内で学校サイドとも情報を共有しながら、やはり最近のＩＣＴ機器等につきましては非常に日進月歩のところもでございます。何が一番最良で最適なのかということも非常に導入のそのタイミングの時点での今後の将来、未来を考えたときの授業の在り方、そういったことも検討の材料として協議してきた経緯等もございます。今後もこのような方針が変わっていく、結果としてこういう形で減額補正のタイミングとなったところで、そういうことが明るみになるという、その前に私ども本日の御意見、御指摘を非常に重く受け止め今後の委員会審査、閉会中も含めた所管の委員会での協議の在り方、そういったことをゼロベースで考え直して取り組んでいきたいと思っております。

○中西委員 先ほど歳入のところも申しましたけども、執行部と議会が密接に論議しながら政策をつくっていくということについては私も異論を挟むところではありませんので、ぜひ報告をしていただきたいと思います。

○藪内委員 ６１ページ、１３節ＡＬＴ配置事業委託料２９０万１，０００円、休み分ということですが、これが何日分というのか、何名分というのか分かりませんが、これだけ減っても成立するものですか。

○谷口小中一貫教育課長 ＡＬＴにつきまして、小学校で１０名配置になっております。その１０名のここまでのお休みの合計というような形でお示しをさせていただいた金額となります。それから、授業につきましてですが、主の授業は日本人の教員によるもの、それをアシスタントで入るのがＡＬＴの先生ということですので、授業は成立をしております。

○藪内委員 授業としては正規の先生がおられるので成立するんでしょうが、やっぱり必要と思ってＡＬＴを採用しているわけじゃないですか。そしたら、その方々がもともと予定していたものより減っているわけですね。それが小学校１０名のＡＬＴの方のお休みといいましてもまあまあ３日分ぐらいですか、ちょっと数と単価は分かりませんが、ある程度は予定していたんですか。

○谷口小中一貫教育課長 授業の中での活用は、もちろんしております。それから、授業以外のところでも英会話を通じてのコミュニケーション能力をつけていくというようなところも狙いとしておりますので、常勤ですと１校に１人配置いただいておりますので、ＡＬＴの活用は十分図れておるか。

○藪内委員 予定どおりになるべく進みますようお願いしておきます。

○尾川委員 AL Tの評価というか、成果について行政評価シートで評価されと思うんですけど、学校なんかの成果の把握というのはやっとなされるんですか。

○谷口小中一貫教育課長 アンケート等を通じて、先生方からの評価なんかも伺っておるところです。全般的に、とても高評価を得ておるかと思います。

○尾川委員 先日の日経新聞にも、この辺のAL Tの成果について島根県の件だったか、そういう事例発表があったんですけど、積極的に備前市もせっかく金かけてやってきとるわけですから、その辺のものを市民に対しても説明する責任があるんじゃないかなと思うんですよ。ですから、先生からアンケートでええ、ええというて、私もたまには直接先生に聞くことありますけど、非常に助かる、助かるというか、どういう評価でええと言よんかというのは私も分からんんですけど、そのあたりをもっと市民に知らせるという考え方はありませんか。

○谷口小中一貫教育課長 もうちょっと広報の在り方を工夫してまいれたらと思っております。

○青山委員 先ほど備品購入のところで聞き漏らしたかもしれないんですけど、当初パソコンとかモニターの更新ということにしていた、それについては今後どのようにされるのでしょうか。

○竹林教育総務課長 令和5年度当初予算にフューチャークラスルームとして電子黒板の整備費を計上させていただいております。

○青山委員 それは新しいものだと思うんですけど、パソコンやモニターです、現場で聞きますとやはりメンテナンスができていないところにもしっかりあるものを活用できるようにしてほしいというような声も聞くんですけど、このパソコン、モニター更新というのはそういう意味で予算がつけられたんじゃないかと思うんですけど、それはどんなですか。

○竹林教育総務課長 年数もたってきておりまして、やはり不調なものが時々機械として出てきておりますので、どうしても壊れてしまったものについては緊急的にといえますか、1台モニターだけを更新というのは備品購入としては行っております。

ただ、全体としてやはり老朽化みたいなのが出てきておりますので、例えばモニターでもちょっと明るさが足りないとか、そういったことが起きつつありますので、全体としての更新をフューチャークラスルームとして計画しているというようなことになります。

○青山委員 それは今後はもう今あるものはもう老朽化なり故障すると、もう廃棄して新しい電子黒板に全部切り替わっていくという捉え方でいいですか。

○竹林教育総務課長 基本的には電子黒板に置き換えていくようにはなりますが、先ほど申しました故障でスポットで買い換えたりしたようなもので、もちろん使えるものもございますので、そういったものはまた使い方を考えながら活用していきたいと考えております。

○青山委員 今まで使ってきたものというのは使いやすいと思いますし、新しいものにも対応しなければいけないんですけど、使えるものは両方使えるようにしていただきたいと思います。

それからもう一点、その電子黒板を各教室に入れられると言われたんですけど、何かかなり大きいもののようにお聞きしとんですけど、例えば教室の大きさです、生徒数によると思うんです

けど、そういったようなもので十分設置してみんなが見えやすいとか、それからもう一つはその管理をどうされるんか。

○竹林教育総務課長 電子黒板の配置の場所につきましては関係で電気工事の経費も若干計上させていただきますので、やはり支障にならない位置に電気配線も行いながら適当な位置といますか、適切な位置に配置したいと考えております。

ただ、先ほども申しましたグループ学習とかに活用することを想定しておりますので、おおむね10人までのクラスにつきましては電子黒板を1台、例えばそれを超えて20人までのクラスですと2台といったところで、グループ分けをしながら学習活動に使っていただけるというようなことを想定しておりますので、多いところになりますと2台から3台みたいなクラスもございます。その辺は置場所については、現場でよく調整しながら考えていきたいと考えております。管理のことにつきましては、どういったお答えがいいのか分かりませんが、もう各教室でということになりますので、担任の先生が活用していただくということで日常的な管理もそういった学校で行っていただくというようなことになろうかと思います。

○青山委員 人数が多くなったら、それだけ台数増えるということなんですけど、教室の人数が多いということはそれだけ狭くなるということもあります。その辺はよく現場と話し合っていたきたいと思うんですけど、管理についてはやっぱり子供たちが教室というのは遊び場でもあるんで、かなり管理が難しいんじゃないかと思うんです。フューチャールームというのが一つのもう教室に置いて、そこへ必要があれば一定授業を受けて、授業を受けないときはもう施設なりして管理ができると思うんですけど、その辺のこともうどこまで聞いたらいいか分かりませんが、しっかり考慮していただきたいと思います。

○竹林教育総務課長 現場とよく調整してやりたいと思います。

○中西委員 60ページ、使用料及び賃借料で機材の借り上げ料というのが180万円残っているんですけど、これは機材の借り上げはいろんなものがあつたんだろうと思うんですけども、残った理由と、これは何なんでしょうか。

○竹林教育総務課長 学校の体育館のLED照明のリースを想定をして当初予算に計上しておりました経費の減額でございます。これについては、令和5年度で工事費で改めて計上しているところでございます。

○中西委員 これたしか債務負担行為か何かで何年間かでやっていた、債務負担行為を議決はしているわけですけど、そういうものを公に債務負担行為を外すという場合にはどこか議会議決とか、あるいはそういう何か議決というのが必要になってくるんでしょうか。

○竹林教育総務課長 債務負担行為につきましては、その設定しました年度に支出負担行為、契約に至らなかった場合は自然消滅といたしますか、そういった状態になりますので、このたびの補正予算としましては現年度予算の減額のみで対応しております。

○石原委員 58、59ページの事務局費の中の委託料、電算システム等保守委託料がかなり大

きく減額になっておりますけれども、こちらの状況をお聞かせいただければ。

○草加教育振興部次長 令和4年度このマイクロステップ・スタディに係る事業につきまして、当初1,500万円余りを予算をお願いをしておりました。この前段として、令和3年8月に補正予算で予算をいただき、小学校4年生から6年生を対象に学習を開始することといたしました。学習開始に当たって、児童の在籍情報を大学側に登録をする必要があり、令和3年におきまして最終的に契約ができたのが4か月程度後の令和4年1月にずれ込んでしまいました。令和4年当初では、4月当初からの全学年での利用ということを想定して予算をお願いしたところなのですが、学習準備にかかる時間が思いのほかかかるということが分かったことで令和3年の4年生から6年生、令和4年でいいますと5年、6年と、中1につきましては6月1日からデータの移行も含めまして6月1日から学習を継続し、残りの新小学校4年から中学校2、3年の追加についてはデータ投入等の準備、それから現場への御説明、保護者への周知等含めて令和5年1月と学習開始時期を設定しましたことから通年での利用とはならず減額になったものでございます。

○石原委員 後ほどの繰越明許費補正にもマイクロステップ・スタディ上げられておりますので、またそこで確認もさせていただければと思います。

それから、60、61ページ、小学校費の中の工事請負費、施設設備工事、これも大きく減額になっておりますけれど、こちらをお聞かせいただければ。

○竹林教育総務課長 大きなものと、伊部小学校の体育館の屋根防水の改修工事が約2,200万円弱ございます。そちらにつきましても、伊部小の移転の関係もございまして保留とさせていただいておりますので減額としております。そのほかには、小学校の普通教室のパソコン、そのモニター整備と関係しておりますが、カーテンの整備というのも併せて行うように考えておりましたが、そこもフューチャークラスルームとの兼ね合いで保留にしているものでございます。それが400万円少しございます。あとは日生西小学校の防球ネットを検討しておりましたが、大がかりな工事ではなく可動式のネットで対応することとしましたので300万円ほど減額しております。

○石原委員 それから、一番大きなものが伊部小学校体育館屋根の防水工事、小中一貫移転の話も出てきてということなんですけど、これ予算可決後しばらくの間はこれ粛々と防水工事に向けて段取りなり準備なり進めておって、いつ頃移転の話が出てきて大方針転換になって、ここで減額になっとなじやけど。

○竹林教育総務課長 伊部小の移転の関係が、11月議会のお話で出てきたかと思います。それまでももちろん広報ですとか、そういったところを検討しておりましたが、そういった事情もございまして若干、跡利用等もどうなるか分からないところで2,000万円以上かけるというのはやはりコストのかけ方としてどうかというところで一旦保留ということになっております。

○石原委員 62、63ページの中学校費に行きますけれども、工事請負費、これが先ほどあっ

たエアコン、トイレの整備工事が保留というか、減額になっておりましようけれども、先ほどの体育館の屋根の防水工事だったり、まさしくこれも教室に関わる大きな工事でしょうから、恐らく夏休み中の工事を目指して年度当初から令和4年度です、可決後進んでいくのかな。夏休みには、かなり大がかりな工事が行われてのエアコン、トイレが整備されるのかなという捉えでおったんですけれども、こちらのエアコン、トイレの整備工事、令和4年度の振り返っていただいて、そのあたり恐らく夏休み中なんじゃないですか、こういう大規模工事は。そこを目がけて進んでおったと、こちらとしては想像するんですけれども、この状況をお聞かせいただければと思います。

○竹林教育総務課長 工事につきましては、順次行うようにしておりましたので、トイレとエアコンでも時期はずらしてというようなことはあったと考えております、準備の段階では。そのエアコンとかになりますと、やはり特別教室でございますので、必ずしも夏休みで全て完了するようなスケジュールではなかったと記憶しております。

○石原委員 ここでもう減額になっとなんであれですけど、じゃけどそこを目がけて本来進むものかなと、学校施設の教育施設の工事って夏休み中を目がけて、それは全てがとは言いませんけれども、じゃ、令和4年度こちらの工事については夏休みに向けて一切こちらでは大きな工事に向けての動きなきまま当初予算編成時点において小中一貫、11月定例会の議会で移転が出てきたからというところで、11月まで一切もうこちらについては何も対応なり準備なりは進めておられなんなんでしょうか。

○竹林教育総務課長 設計業務のほう年度当初からかかっておりまして、一旦は吉永中学校のトイレ、エアコンの設計業務の検討までは行っております。

○石原委員 設計業務が行われたというのは、その上の委託料の工事設計監理委託料、こちらの幾らかが検討業務、たしか設計業務に幾らか執行されたということですか。

○竹林教育総務課長 このたび減額しておりますのは、もう実績見込みで減額しておりまして、一応その吉永中としましては補正前額から今回補正額差し引きしました400万円弱になろうかと思います。

○石原委員 吉永中については、400万円ほどこちらの委託料から設計業者入札されたんか、そちらと契約をされて設計業務行ってきたけれども、方針転換でちょっと待ったという状況という捉えでよろしいですか。

○竹林教育総務課長 そのとおりでございます。

○中西委員 高等学校の備品購入費1,250万円の減額の理由をお知らせください。

○竹林教育総務課長 こちらにつきましても、パソコンとモニターの更新経費でございます。

○中西委員 何をどのようにするために、これは減額補正になったんですか。

○竹林教育総務課長 小学校、中学校と同様、フューチャークラスルームの整備に変更したことでございます。

○森本委員長 いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

休憩します。

午前１０時４３分 休憩

午前１０時５９分 再開

○森本委員長 それでは、委員会を再開いたします。

○谷口小中一貫教育課長 先ほどＡＬＴの休みの日数のあたりの御質問があったかと思います。

おおよそになりますが、ＡＬＴ、先ほども申しましたが小学校で１０名配置、中学校で５名配置させていただいております。それで、その合計の数を今金額として表しているというところで、そこから計算をしてみました。小学校ですが、１人当たりで大体年間８０時間程度ですので約１０日ほど、それから中学校で１人当たりが５０時間程度年間お休みをしております。ですので、６日から７日程度の年間お休みをされているというようなことになります。

ちなみに、時給による実績払いとなりますので、時間単位で例えば２時間今日は早く帰るとかというようなことがあったら、そういうところも実績払いで計算しておりますので、そのあたりも日にち単位と時間単位でお休みを取られているというようなイメージかと思います。

○森本委員長 いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次行かせていただきます。

範囲は６４ページ、６項の社会教育費から最後まで１３款諸支出金の２項基金費までを範囲といたします。

○尾川委員 ６５ページ、図書館費の委託料、図書館整備支援業務委託料３００万円の委託料が減額なんですけども、説明をお願いします。

○高橋図書館事業推進室長 図書館建設の基本計画等の策定業務の委託料として計上をしていただいていたと認識しておりますが、私が着任いたしまして自前での策定が可能と判断いたしましたので全て執行残とさせていただきました。

○尾川委員 内容的には、委託よりすばらしかったんですか。

○高橋図書館事業推進室長 そこは自分で判断するところではなくて、周りの方の判断になるのかと思います。

○尾川委員 言やええが、そのきれいのこと。自力でやったということ。

○高橋図書館事業推進室長 そういうことです。

○中西委員 ６４ページの文化財保護費のところで委託料、文化財調査委託料、この減額は先ほどの歳入のところで出た窯跡の調査のものになるんですか。

○畑下教育文化振興課長 そのとおりでございます。

○中西委員 その下の備前歴史フォーラム委託料、これはどうして実施ができなかったんですよ

うか。

○畑下教育文化振興課長 これもコロナの関係で、大分収まってはきていたんですけど、よそから人を集めるような形のフォーラムになるので、今年についても見送って中止といたしました。

○中西委員 コロナのときは一応計上していたけども、実施はしてなかったんですか。

○畑下教育文化振興課長 コロナの時期も計上しておったんですけど、ここ2年ほど実施できておりません。

○中西委員 その下の負担金補助及び交付金の指定文化財補助金、大体600万円ぐらいは使ったのかなと思うんですけど、残金が120万円出ています。その理由についてお聞かせ願いたいと思います。

○畑下教育文化振興課長 今年度大滝山の防災設備の改修工事を計上しておったんですが、4年度県の補助金が入らないということで、こちらの分を落しました。令和5年度に計上してやっていく予定になっております。

○中西委員 予算編成されるときに、県とは恐らく大滝山のそれでもらいますよと、県もよろしいですよということで話合いの中で予算計上がされていたんだらうと思うんですけども、それが突然県から金が入らないということは、どういうことなのでしょう。

○畑下教育文化振興課長 前任者とのやり取りの中で私は県の補助金がついているものとして計上させていただいたんですが、結果的に県に確認いたしましたら、これについては令和4年度は見送って来年度検討するということという話だったので、申し訳ありませんでした。今回予算計上はしましたが、落とさせていただきました。来年度につきましては、きちんと県と確認いたしまして県も補助金を上げてくれるということなので、令和5年度については計上させていただいております。

○中西委員 予算の計上については、私はやっぱり慎重にしくちやいけないんじゃないかなと思います。また、それだけ慎重にしている、こちらからお断りするなんて、あんまり失礼のないようにすべきではないかと思います。

あわせて下の寄附金、旧閑谷学校櫓の木寄附金、どういう目的でどこに寄附をされるのか、お聞かせいただきたいと思います。

○畑下教育文化振興課長 ふるさと納税の寄附金の一部を寄附していただいた方の意向によりまして、閑谷学校顕彰保存会が行っています櫓の木募金に500万円、市に寄附していただいた分からそちらに支出するものでございます。

○中西委員 寄附をする団体の正式名称は何なのでしょう。

○畑下教育文化振興課長 御氏名は非公開になっています。

○中西委員 この寄附をさけた方ではなくて旧閑谷学校櫓の木寄附金、これが正式名称なんですか、こちらがお金を寄附をするという相手方は。

○**畑下教育文化振興課長** 相手側は、公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会が集めております楷の木募金に支出します。支出先は、閑谷学校の顕彰保存会です。

○**中西委員** 相手がどこに出したんかということであれば、相手方の正式名称をきちっとここに書くべきではないかなと思うんです、この説明欄に。

○**畑下教育文化振興課長** 分かりにくい表示になって、大変申し訳ありませんでした。

○**立川委員** 66、67ページ、学校給食費の関係で備品購入費660万円のマイナスになっているんですが、伊里共同調理場の回転釜がどうこうというお話を聞いていて、456万5,000円ですか、共同調理場との整備時期ということで保留にされているんですが、壊れてから長いんじゃないかと思うんですけど、ここでも実情報告があったんですけど、何も手を打ってないということで大丈夫なんですか。

○**竹林教育総務課長** 現状としましては、その釜をあえ物をする際に使ったりとか、別の用途で釜としては使うような形で対応しております。回転釜につきましては、その調理場の整備との兼ね合いで保留ということで、このたび補正減額をさせていただいておるところですが、現状としましてはやりくりしながらというところでやっております。

○**立川委員** 本来の用途と違う使い方をされていると今お聞きしました。現場からは、なかったら困るんですということで予算も上げておられたのに、棚上げ、棚上げで行っていて大丈夫なんかなというところなんですけど、今おっしゃったように本来の使い方する機器がないはずなんですよ、回転釜としたら壊れていて。写真も見せてもらいましたけど、ちょっと待ってくれ、ちょっと待ってくれ、ちょっと待ってくれのお話でしょう。現場からは、本当そんな声が出てきていませんか。大丈夫ですか。

○**竹林教育総務課長** 回転釜だけのことで言いますと、何とか現状でやっていただいておりますというところで、何回もそういった改修といいますか、修繕といいますか、更新をということでは聞いておりません。

○**立川委員** 本来使えるべきものが本来の目的で使えるようにというお話をしたところなんですけど、そのときにも、待たせて待たせてするのがいいのか、現場困っていると思いますよ。予算も上げながら、箱ができるまで待ってくださいというお話でしょう。果たしてそういうやり方で大丈夫なのかなという疑問が残るんですけど、しっかりその辺、例えば屋根なんかやったら一時的にも補修するじゃないですか。日生の温水プールも修理しますということで予算上げていたじゃないですか、一千七、八百万円。台風でちょっと壊れたからというて部分補修して、その分また下げとうじゃないですか。部分補修ですよ。本来機能すべきところ、しっかり考えていただきたいと思うんですけど、学校給食困っていると思いますので、これできるまで2年ほど放つとかれる予定ですか。それだけお聞かせください。

○**竹林教育総務課長** 回転釜だけの経費としましては令和5年度に計上しているものではございませんので、状況によって例えばさらに壊れるとか、そういった緊急に対応しないといけないよ

うな状況も考えられますので、緊急の部分については修繕料での対応はもちろん考えておりますが、その状況、状況で補正予算等をお願いできたらと考えております。

○立川委員 しっかりここで落としたということだけは覚えといてください。

○中西委員 需用費の修繕料だとか、減額補正がされているんですけども、施設の備品のところでも出ましたけども、当委員会で給食調理場のパワーポイントで見せていただいて、私どもがなかなか中に入れませんので、それを見て、ああ、これ修理をしたほうがいいなのというのが各委員からかなり御意見があったんじゃないかと思うんですね。そういう修繕なんかは、きちんとできているんでしょうか。

○竹林教育総務課長 調理場の運営に支障があるようなものが積み残しになっているということはありません。

○中西委員 ここで幾つかパワーポイントで示されましたけども、どこか修繕をしたというところがあるんでしょうか。

○竹林教育総務課長 パワーポイント等でお示した部分も、かなり大規模に係る部分かと思えます。もう施設設備全体のお話がほとんどでございますので、やはり改修整備の中でやらざるを得ないような部分かと思えます。やっぱり小規模な修繕では対応できないところがほとんどでございますので、そういった意味で統合整備を検討していかなければならないと考えております。

○中西委員 パワーポイントで示された部分は今回は修繕してないと、大規模な改修の中でそういうものは入ると思っていいですか。

○竹林教育総務課長 大規模な部分がどこまでできるか、そこも含めて検討中でございます。費用対効果を見極めながら、どこまでできるかというところを検討している最中でございます。

○青山委員 同じページの体育施設費ですが、13節の委託料、体育施設指定管理料が428万3,000円、補正でプラスになっておりますけど、これはどういったものなのか。

○波多野社会教育部長 体育施設の指定管理者であります施設管理公社へ、電気代高騰に係る負担ということで高騰分を負担するものでございます。

○立川委員 同じところで工事請負費の内訳なんですけど、伊部の運動公園の整備工事550万円落とされているんですけど、原因が地元から悪臭があってという要望でしゅんせつあったんですが、現地において現時点で収入等確認できないことから見送りと、予算の在り方ですけど、調査してから予算つけるんじゃないですか。状況を御説明いただけたらと。

○波多野社会教育部長 区会からの要望ということで、秋から冬にかけての要望を受けまして当初予算を計上いたしました。その後、悪臭等はやはり梅雨の時期から夏にかけての暑い時期というところで、私どもも現地調査あるいは利用者からの要望等も聞き取りましたが、いや、特にもう臭いはしないということで一旦は流したものであります。令和5年度につきましては、現状当初では上げてはおりませんが、どういう形で埋める、あるいは例えば逆に除去するというようないろんな方向を考えたいと思います。

なお、今の時期、もし悪臭が出たらということも考えまして伐採を年度内に行いたいと思っております。

○立川委員 対処よろしくお願いします。区会へは、きちっと説明してトラブルがないようにできていますわね。

○波多野社会教育部長 今回の伐採につきましても、まずはこういうことからやっていくということで説明済みでございます。

○森本委員長 歳出終わらせていただいていいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そしたら、次に行きます。

7ページをお開きください。所管別分類表は2ページです。

第3表の繰越明許費補正です。

10款教育費のところが範囲となっています。

○石原委員 一番下の西鶴山共同調理場備品購入事業、説明では部品の納品に遅れが生じてということで、やむなくという状況なんでしょうけれども、こちらの調理場ではこちらが遅れておることでどんなんですか、困っとられたり、業務が作業が大変になったりという状況が続いとんどでしょうか。

○竹林教育総務課長 給食の調理そのものに直接大きな影響が出ているとは考えておりません。

○石原委員 遅れてはおりますけれども、現時点でいつ頃納品がなされて整備がなされるのかなと、想定ですけれども、どれぐらいで見込んどられますか。

○竹林教育総務課長 時期まではっきりしておりません。

○中西委員 この西鶴の共同調理場の備品購入、備品というのは何でしたっけ。

○竹林教育総務課長 野菜をカットするスライサーという機械でございまして、部品の納入にやはりかなり時間がかかっているようでございます。今のところ、8月頃までかかるんじゃないかと言われておるようでございます。

○中西委員 市民会館改修工事、これは日生だったと思うんですけど、実際にはどのような改修工事になるんでしょう。

○波多野社会教育部長 市民会館の冷暖房、空調設備の改修になります。

○中西委員 これが繰越明許になる理由は。工事の方法が変わったとか、いろいろあるんじゃないかと思うんですけど。

○波多野社会教育部長 まず、令和4年度設計に入ったところでございますが、設計をする際に今回は落としましたが新年度再計上いたしました、同時に舞台照明の電盤改修工事1,700万円ほどかかる工事なんですけども、別々に設計費を上げておりましたが、同じホール系統ということで双方まとめて設計をする形になりました。業者に出して入札を行い、2月末にその設計が上がってきたところでございます。その分、空調は繰越し、それから分電盤の改修につきまして

は令和５年度新たに東備西播事業のほうの交付金をいただくという形で再計上させていただいた次第でございます。

○石原委員 保健体育費の一番上ですけれども、吉永Ｂ＆Ｇ海洋センター耐震診断業務、調査に不測の日数を要してということがありますけれども、調査が遅れたから設計書作成業務が遅れたと、調査自体はもう終わったんでしょうか。

○波多野社会教育部長 私どもには調査ができる職員がおりませんので、教育総務あるいは４階の職員にお願いしながらやっているとございまして。完全に入札できるところまでは至っておりませんが、ただいま構造物調査ということで続行中とございまして。

○石原委員 先ほどおっしゃったこちらの職員さんがあらかじめの調査をされとるということで、確認なんですけど、改めてこちら側の調査が済んだ後に専門業者に入札等で委託をするということでしょうか。

○波多野社会教育部長 これは入札案件になりますので、調査完了後入札の仕様書ができますので、それによりまして指名委員会、それから入札という運びになります。

○森本委員長 ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

全体で何か質疑漏れ等ございせんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で議案第１６号令和４年度備前市一般会計補正予算（第１２号）のうち、文教関係の全ての審査を終了いたします。

***** 議案第1号の審査（文教） *****

次に、議案第１号令和５年度備前市一般会計予算の審査を行います。

予算書２４ページを開いてください。所管別分類表は２ページです。

審査範囲は１４款分担金及び負担金、２項の負担金の１目の民生費負担金の４節から２９ページの１５款使用料及び手数料、２項の手数料、９目教育手数料までを範囲といたします。

○内田委員 ２５ページの４節文化財保護費負担金の井田跡発掘調査負担金、具体的にはどういったことをされるんですか。

○畑下教育文化振興課長 ただいまこの井田跡に地元からの要望で水路の改修をしてほしいということで、県民局が水路改修に当たっていただいているんですが、一応こちらが包蔵地ということで、どういったことをしなきゃいけないかという仮の調査を行っておりまして、今度この県民局がここを改修したいというところに対してちゃんとした本調査というものを行わないといけないので、こちらの本調査を行うための費用については県民局からの負担になりますので、その調査費について県民局からいただく負担金です。

○内田委員 そういったことを地元の区会の方は御存じですか。

○畑下教育文化振興課長 地元の方とうちの建設課、それから県民局挟んでお話進めております

ので、御存じだと思います。

○内田委員 使い勝手が悪くなったなという方が結構おられますんで、十分に説明をお願いしたいと思います。

○中西委員 26ページの教育使用料、社会教育使用料、美術館使用料、前年度の予算と比べますと、4割減ぐらいになるわけですけども、理由についてお聞かせください。

○畑下教育文化振興課長 備前焼ミュージアムの分になりますので、所管が違います。

○森本委員長 6,000円入っているらしいんだけど。

○波多野社会教育部長 その6,000円につきましては土地使用料で、公民館活動課、市民センター、伊里公民館、日生東等の公衆電話等の土地使用料でございます。

○森本委員長 その6,000円は波多野部長は土地使用料の話で、美術館使用料の中に6,000円があるらしいんですけど、波多野課長のところじゃないんですか。違う。

○波多野社会教育部長 吉永美術館を有料化する場合の使用料と思っております。

○中西委員 吉永の美術館を今度有料にして使用料を取るということなんですか。

○畑下教育文化振興課長 もともと吉永美術館は入場料を取る形になっておりまして、普通のときの企画展には職員がいないので減免で対処しているんですが、文化祭とかの時期にあの美術館を使って展示をしたりするときに使用料が発生いたしまして、その使用料が入ってきます。

○森本委員長 29ページまで大丈夫ですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次の範囲を言います。

次は、30ページ、16款国庫支出金、1項国庫負担金、2目の民生費国庫負担金の3節から35ページの9目教育費国庫補助金までを範囲とします。

○尾川委員 31ページの3節児童福祉総務費負担金、子育てのための施設等利用給付交付金、倍まではいってないんですけどかなり増額になると。

○竹林幼児教育課長 認可外保育施設等の利用者に対する助成金に対する、市が支出した分に対する負担金と国庫の負担金となります。利用者数に増加傾向が見られるというところで、今回16名程度の利用対象者を、こちらの国庫負担金の対象者として見込んで試算をしております。それによる増額となっております。

○尾川委員 利用者増ということですが、何名が何名ぐらいになりそうと予想されとんですか。

○竹林幼児教育課長 国庫の負担金部分につきましては、昨年9名分で見込んでおりましたけども、本年度16名分ということで見込んでおります。

○森本委員長 ほかによろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次の範囲へ行きます。

次は、36ページ、17款県支出金、1項県負担金、2目民生費県負担金の3節から43ペー

ジの3項県委託金、9目教育費県委託金までを範囲とします。

○内田委員 41ページの11節保健体育総務費補助金の部活動地域移行推進事業、具体的にはどういったことをしとんですか。

○波多野社会教育部長 令和5年度から令和7年度までは、国は部活の休日の地域移行について強化年としておりましたが、現在は推奨ということになっております。休日の部活動、これはスポーツ、文化それぞれであります、それを地域のスポーツクラブや地域の文化クラブに段階的に移行していくに当たりまして、市のほうでコーディネーターと、それから指導者への謝金を今スポーツの予算で計上しております。計上額は今34万8,000円ですが、そのうちの3分の2を国、県からの補助でいただくという形の歳入になっております。現在は私どももここまでの措置しかできませんが、4月以降、まだ国、県のモデル事業の応募等がございますので、そちらにまた応募次第、補正で増額になる可能性もございます。

○内田委員 私も全く分かりにくいところがあって、例えば伊里中学校の場合、今1学年が十数人、20人切っておりますんで、部活ができにくい状況なんです。この言葉だけ見たら、例えば私は伊里中学校の生徒さんがバスケットしていて吉永へ行けば合流できて一緒にできるのかなというような、そういうふうに思っておったんですが、それとは全く別なんですかね。

○波多野社会教育部長 例えば部活がない場合の越境入学等も、今まで例があったとお聞きしております。伊里中学校さんに関しましては、PTAから私どもにそういったことも含めた情報交換をぜひしたいということで、私どもも行きまして、できれば地域のスポーツ少年団が中学校まで面倒を見ていただけるというような、今度は大会に出るのも地域のクラブから大会に出てもいいという規定等もありますので、できるだけ地元のそういった団体に中学になっても面倒を見ていただいたら移行とか私立への進学は考えなくてよくなりますので、そういったことのモデル事業をぜひ私どもはやっていきたいと思っております。

○土器委員 43ページ、3番の教育研修諸費の委託金の中の小学校における長期欠席不登校対策システム化推進事業委託金のことを教えてほしいんです。十何年前の不登校と今の不登校は違うようなんですね。学校行くのが、何かその辺でこのシステム化というのを教えていただけたらと思います。

○谷口小中一貫教育課長 登校しづらい状況が見え始めた児童につきまして、またはそれから長期欠席や不登校傾向にある児童に対する登校支援であるとか別室支援を行うといったようなところが主な取組となっております。そのための登校支援員さんや、それから別室の指導の支援員さんを配置する事業となっております。

○土器委員 人数は何人か、今のところ考えられとんですか。

○谷口小中一貫教育課長 今のところ、7名の配置予定を考えております。

○丸山委員 41ページの11節学校管理費補助金、ここもその教育活動を支える教師業務のアシスタントということを書いてあるんですが、スタッフ、何人であるとか、先ほど7名ということ

は言われていましたけど、こちらはまた別で考えられとんですか。

○谷口小中一貫教育課長 先ほどのものにつきましては、登校支援であるとか、それから別室指導の子供に対する支援というところの支援員さんでした。それで、今おっしゃっていただいた教師業務アシスタントというものにつきましては、教員の事務作業等の負担を図ることで先生方が子供と向き合う時間を確保していきましょうという、そういう趣旨の事業となっております。です、教育支援員さんのはちょっと種類が変わってきているというところです。こちらにつきましては、県費につきましては2校で2人配置を考えております。

○丸山委員 2校で2人なんですが、そのほかのところにということはありますか。

○谷口小中一貫教育課長 県費では2校となっておりますが、市費で残りの学校も全て1校1人は業務アシスタントとしての配置をしております。

○西上委員 37ページの県支出金、先ほど尾川委員が国庫支出金のところで聞いたものの県バージョンで子育てのための施設等の利用給付費県費負担金、先ほどのお答えでは認定外保育施設とのお答えがありましたが、ファミリー・サポート・センターも入るんですか。

○竹林幼児教育課長 ファミリー・サポート・センター等は対象にはなっておりません。

○中西委員 42ページの教育費県委託金、教育研修諸費委託金、主体的な学びの基盤づくり事業委託金、昨年度から見たら半額になっていますよね。どうしてでしょう。

○谷口小中一貫教育課長 実施する学校数が減っております。

○中西委員 学校側からは事務量も増えるんでということで、敬遠されるような事業なんではないか。

○谷口小中一貫教育課長 そうではありません。例えば家庭学習であるとか、それからAIドリルの活用によって補完をしようということで、今年少し学校数が減っているということになります。

○中西委員 その下の先ほど出ました小学校におけるという、これも昨年度の予算から見ると70万円ほど減っていますよね。逆に言えば、今長期欠席、不登校対策というのはある意味強化していくというようなところが必要なのかなとは思いますが、ここの昨年度の当初予算との比較での減額理由というのはどういうことになるのでしょうか。

○谷口小中一貫教育課長 少し減額とはなっていますが、取組自体は充実をさせていっておる方向で進んでおります。

○中西委員 充実させる方向になっているということなんですけども、金額が減るということは例えば人数だとかに影響が出てきているのでしょうか。

○谷口小中一貫教育課長 後ほど回答させてください。

○青山委員 41ページの1節学校管理費補助金、部活動指導員の配置促進事業補助金、昨年よりもかなり増額になっているんですけど、何人がどこへどういった種目で行かれるんかというのが分かれば教えてください。

○谷口小中一貫教育課長 まだ人の配置のところまでは至ってはいないところがあるんですが、計画といたしましては令和4年度7名だったところを10名分まで増やしていこうというところで考えております。種目も、新規でサッカーを考えているという学校もございます。

○青山委員 下の部活動地域移行との関連はあるんですか。

○波多野社会教育部長 先ほどの説明で、休日部活動の地域移行について触れさせていただきましたが、教職員の業務軽減ということにつきましては当然平日も入るわけでございます。今の教職員以外の外部人材を部活動指導員として、まず平日に組み込むことができれば、その方と、それから地域のクラブとの話というのも進めていって、地域移行もよりスムーズにできるのではないかとということで、私ども社会教育からもお願いしたところでございます。

○青山委員 本当に指導者の育成、それから増員というのが地域移行決め手になると思うんで、しっかりやっていただけたらと思います。

○尾川委員 43ページの教育研修諸費委託金、小学校における長期欠席、不登校対策システム云々、この中に不登校やいじめについてのその事業の内容について説明してもらいたいんです。いじめ対策についてどう対応するのかという、歳出で触れたほうがえんかも分かんのですけど、その辺を説明いただきたいんですけど。

○谷口小中一貫教育課長 今の小学校におけるシステム化の事業につきましては、いじめ対策と直接というところでは関わりがある部分とない部分があるかなと思っております。例えば別室なんかに行っている子供の中で、いじめによるような影響のものがあるとか、そういうところはあるかと思いますが、そういう子供たちへの関わりというところを丁寧に行っていくというようなところもこの中では入っておるところです。

○尾川委員 いじめ対策で国は首長部局にいじめ担当部署を設置するとかという話があって、かなりスタンスが違ってくると思うんですけど、備前市でそのあたりまではあまり考えてないと、いじめがあるんかねんかよう分かんのですけど、そのあたりの取組というのは今の話じゃ、そう積極的な体制づくりをしてはないということで理解したらえんですか。

○谷口小中一貫教育課長 いじめ対策についても力を入れて取り組んでおります。学校でいじめと認知されたものにつきましては、教育委員会にも報告をいただきまして、その件について情報共有、それから指導の方向性を確認しながら進めておるところです。また、学校でのケース会のほうも関係機関等とも連携をしたり、教育委員会からも参加をさせていただいたりして対策の方向性を定めて進めております。もういじめにつきましては、未然防止というところも力を入れて取り組んでおるところです。早期発見、早期対応となるように努力をしておるところです。

○尾川委員 事業として要するに、同僚意識でななあで行くというふうな体制が強いという判断から首長部局へそういう担当者を置くという取組方法に転換していきよんじゃねえかと思うんです。そのあたりで、備前市としてどういうふうな取組を今考えておられるかというのをお聞きしたかったんです。この不登校もいじめで不登校になる場合もあるし、ですからそのあたりをお

聞きしたかって、同僚意識というか、同じ先生同士で傷のなめ合いと言うたら失礼な言い方になりますけど、そういう傾向が強いということで、どっちかというたら首長へ力入れるというのはあんまり好ましいことではないんです。現実にはそういう国の動きは教育委員会制度にしてもそうですし、だからそのあたりを聞いたかったということなんですけど。

○谷口小中一貫教育課長 早期発見というところでいきますと、学校の先生方とも共有しているのが積極的に認知をしていきたいと思います、いじめに対する認知を積極的に行っていく、これぐらいだったらいじめじゃないかもしれないではなくて、もういじめではないかというような視点で見えていく、関わっていくというようなところをまず最初の導入部分では徹底をして図っておるところです。

○土器委員 いじめのないような形の環境づくりという形に力入れられとんですけど、仮にそのいじめられたらという表現はいいかどうか分からないんですけど、ある程度子供自身がそれに対して反発ということはないんじゃないけど、形の教育も必要ではないかと思うんですけど、やはり弱くなっとなんじゃないかと。昔は兄弟なんかおって、その中で育っていると、今は一人っ子が多いという形で社会の中でもまめれてないから、ちょっとしたことがいじめになるんではなかろうかと思うんです。それに対して負けない教育というんか、指導はできないのでしょうか。

○谷口小中一貫教育課長 人間関係の希薄化とか少子化というところ、教育現場にも以前と比べると影響が出てきているところがあるのかなとは思っています。そうした中で、学校のほうでも子供たちの人間関係づくりというところ、これを同じ学年もですが、違う学年も含めて異学年交流とかも通して人間関係づくりの取組を進めております。ソーシャルスキルトレーニングですとか、それからグループエンカウンターですとか、そういったような技法も活用したり、それから道徳で心を養ったりというようなこと、それから学活で実際にそういう実践的な取組をしてみるといったようなところで、今子供たちも人間関係づくりを学んでおるところです。

○森本委員長 休憩に入ります。

午前 11 時 59 分 休憩

午後 0 時 59 分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

○谷口小中一貫教育課長 午前中にありました小学校における長期欠席、不登校対策システム化推進事業の県からの委託金に関するご質問がありました。確認ができましたのでお伝えできたらと思っております。

昨年度と比べて減額になっている理由はというところでございました。

報酬についてはもうほぼ同じぐらいの金額が令和5年度も計上させていただいております。通勤手当の計算方法が、令和4年度のものに誤りがあったということでございました。ですので、令和5年度のものについては正しいもので計算をしておりますので、県からの委託金としては令和4年度と同等の対応ができるように計上しております。あわせて、新規で配置をいたしま

す2名分につきましては市費のほうでお願いしようと思っております。

○森本委員長 43ページまでいいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次のページ行きます。

44、45ページで、18款の財産収入で1項の財産運用収入と2項の財産売払収入です。別紙1を参照にしてください。

○中西委員 44ページの物品売払収入、その中の物品売払収入、この中で書籍冊子売払収入というのがありまして、教育文化振興課51万7,000円というのがあるんですけど、これはどういうものが収入になっているんでしょう。

○畑下教育文化振興課長 これにつきましては、各文化施設にあります資料冊子とかの売払いが8万6,000円、それから論語かるたが18万円、それから来年度歴史民俗資料館でやる企画展で図録を作りますので、その売払い予定収入で22万1,000円、もう一つ加子浦もそういった図録を作りますので、それについての3万円、合計51万7,000円でございます。

○森本委員長 ほかにありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そしたら、次に行かせていただきます。

次、48ページの20款繰入金、2項基金繰入金、16目社会体育施設整備基金繰入金から51ページの22款諸収入、3項貸付金元利収入と8目奨学資金貸付金元利収入までを範囲といたします。

○中西委員 48ページ、奨学資金奥橋基金繰入金、現在今の基金が幾らあるか。

○波多野社会教育部長 現在の残高は2,200万円、そのうち今回は貸付けが1,599万円、篤志に600万円の予定にしております。

○中西委員 その下の米百俵基金繰入金、これが現在幾らありますでしょうか。

○竹林教育総務課長 令和4年度末見込みで2億1,470万2,000円、来年度末見込みが1億9,929万2,000円になります。

○森本委員長 ほかにありませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そしたら、次52ページの2目の弁償金から最後雑入まで、57ページまで、別紙2を参照してください。

○中西委員 52ページの雑入、職員給食費徴収金、昨年度の当初予算よりぐんと大きくなっているんですけども、理由についてお聞かせ願いたいと思います。

○竹林教育総務課長 小学校、中学校の教職員、それから調理場の調理員の給食の今年度の実績見込みの食数から算定しております。前年度の差分につきましては分析ができておりませんので、後ほど回答させていただきます。

○石原委員 その上のこども園児給食費徴収金、ここへ徴収金が計上されておられませんので、これすなわちマイナンバーカード世帯全員取得１００％を見込んでの計上ゼロということと、それから今後マイナンバーカードを取得されてない方の子供さんの給食費徴収された場合は随時こちらへ補正予算で歳入がされてくるということによろしいでしょうか。

○竹林教育総務課長 前年度当初予算で３，５００万円程度を見込んでおりましたが、令和５年度は納付免除ということで、計上していません。もしそういった徴収金が歳入されましたら、こちらのほうへ計上していくようになります。

○草加副委員長 ３３ページの５節の児童福祉総務費補助金、幼児教育課分の事業はどちらに当たるとかということの説明いただきたいんですけども。

○竹林幼児教育課長 まず一番上の子ども・子育て支援交付金１８万８，０００円、こちらと新型コロナウイルス感染症対策支援事業補助金１５万円、それから最後の保育対策総合支援事業費補助金７７万５，０００円となります。いずれも久々井地区にあります小規模保育所のそれぞれの事業に対する補助金となっております。また、一部一番下の保育対策総合支援事業費補助金、こちらが６０万円はそちらの小規模保育所分、残りの１７万５，０００円、こちらが来年度、こちらの通園バスで予定しております安全装置に対する補助金を１７万５，０００円見込んでおります。

○中西委員 ５４ページ、総務費雑入、研修助成金があるんですけども、この２５万円というの別のところからお金が下りてくるということになるんですけど、これは何なんでしょうか。

○竹林幼児教育課長 幼児教育課で行っております職員研修に対しまして、県の外郭団体から例年助成いただいております。

○中西委員 これは県のどのような団体で、何の研修を目的としておられるのでしょうか。

○竹林教育総務課長 例年、事業の内容はまちまちでございます。その都度、研修のテーマを設けて研修は行っております。助成金の先ですけど、市町村振興センターから研修の助成金としていただいております。

○森本委員長 歳出に移らせていただいてもいいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次、歳出のほう移らせていただきます。

所管別分類表は３ページです。６２ページのほう開いてください。

範囲は６２ページの２款総務費、１項総務管理費、１目一般管理費の１節中の会計年度任用職員の報酬、別紙３を参照にしてください。それと、３款民生費、３項児童福祉費の１０９ページまでの別紙５を参照にしてください。

○中西委員 ６２ページの報酬、会計年度任用職員報酬、資料を見ているんですけども、例えば予算額１万円、幼児教育課の社会教育課、公民館活動課とあるわけですけど、例えば社会教育課の予算は１万３，０００円ですけど、会計年度任用職員報酬、こんなんでもうやって人を採用

できるんかというのが私もこの金額だけ見ると分からないんですけど、教えていただけますか。

○波多野社会教育部長 それでは、社会教育部を代表してお答えいたします。

こちらの一般管理費の会計年度任用職員報酬は、これは市バスを研修とかで運行したときの運転手さんの賃金ということになります。ちなみに社会教育課の研修では1万2,900円、公民館活動課の研修では1万2,000円といったことで、直接の社会教育課や公民館の人件費ではございません。

○森本委員長 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そしたら、次が160ページに飛びます。160ページの10款教育費、1項教育総務費で160ページから167ページまで。

○尾川委員 163ページの事務局費、会計年度任用職員の報酬で2,900万円、3,000万円ほどあるんですけど、人員と、それからこれも恐らくスクールバスの運転員じゃないかなと推察するんですけど、アルコールチェック、飲酒運転防止はどこが責任持ってやっとなですか。

○竹林教育総務課長 アルコールチェック等につきましては、バス管理事務所でっております。

運転員の人数につきましては、15人でございます。

○尾川委員 それで、管理はもう向こうへお任せで、金が上がってきとるだけで、そういう理解でええわけ、全くそのどこまで教育委員会がタッチしとんかどうか、説明してください。

○竹林教育総務課長 通常の運行管理につきましてはバス管理事務所に任せているところなんです、時期的に面接等行っておりますので、そういったところでは教育委員会で行っております。

○尾川委員 要するに運行管理は責任持って、最悪の場合、事故があったときに、どちらが対応してどうするんですかという、教育委員会は二次的になるんですかということなんですけど。

○竹林教育総務課長 事故等があったときにつきましては、教育委員会が責任持って対処に当たるようにしております。

○尾川委員 そしたら、日常の管理は運行管理者がして、何かあったら教育委員会が出てくる、ちょっと何か二元性があるようなけど、そんなんで管理ができるんかな。

○竹林教育総務課長 運行マニュアル等を整備しておりまして、その中で連絡網ですとか、そういった連絡体制を構築しております。緊急事態につきましては、そういったところに対応しております。通常何も無いような運行につきましては、バス管理事務所をお願いしとるというような状況でございます。

○尾川委員 同じ質問ですけど、要するにこっちが聞きたいのは一時的にもう、じゃ、子供が乗って学校生徒・児童乗せとっても一時的には教育委員会は責任も出ていかんという理解でええわけ。その辺を明確にしてもらうとったほうが後々何かあったときに対応が、そういうこと

から問題が起こってくるんだから。

○石原教育振興部長 委員御指摘の御趣旨、非常によく理解をしております。日常的な関わり具合から含めて、教育委員会としても実際の運行自体はお願いするところはもちろんございますけれども、日常的な関わり具合というものは非常に教育委員会も日々スクールバスの運行行われるものでございますから、非常に我々の関わり具合というものは強いと私どもは理解をした上で行っているところでございます。お子様の命を預からせていただいている、それがスクールバスの運行であるという考え方に基づいて、私どもの主体的な取組姿勢というものを教育委員会としても取り組んでいるという点を受け止めていただければ幸いかと存じます。

○尾川委員 やっぱこれもきちっと運転管理と、それから責任の所在というのを明確にせんと、何か起きたときに、いじめの問題も一緒なんです、結局責任の所在が不明確であっちじゃこっちじゃという言うてしもうてひんしゆくをを買うようなことになるんで、その辺を文章化しと思うけど、確認をしといてください。

○石原教育振興部長 しっかりとさせていただきたいと思います。

○中西委員 162ページ、事務局費、給料のところ特別職給料というのがあるんですけど、これはどなたのことを指すんでしょうか。

○竹林教育総務課長 教育長になります。

○中西委員 その下の一般職給料というのがあります。去年機構改革で部屋に入り切らないほど教育委員会は人が増えたわけですけども、今年度と昨年度の予算を比較しますと大体300万円ぐらい増えているわけです。人数にすると何人ぐらい、また今年は教育委員会職員は増えるんでしょうか。

○竹林教育総務課長 令和4年12月での現員現給ということで計上することにしておりますので、前年度の予算比でいきますと全部で9人増ということで計上しております。

○中西委員 その9増員になる理由についてお聞かせ願いたいと思います。

○竹林教育総務課長 増になった要因といいますか、機構改革に併せて配置をしたということで増となっております。

○中西委員 今の教育委員会のスペースに9人また入ると、どうですか、入りますか。

○竹林教育総務課長 5年度で改めて今から増えるのではなくて、令和4年度の12月1日現時点での配置に合わせて計上しておりますので、現状だということで御理解いただけたらと思います。

○中西委員 162ページの旅費、ここが大変増えていると、特に普通旅費、昨年度が52万7,000円が今回469万円ですから約10倍近く増えているんで、この旅費の増の理由についてお聞かせ願いたいと思います。

○草加教育振興部次長 この普通旅費につきましては、国際バカロレア教育に取り組むための教職員の視察、またワークショップへの研修旅費等を計上しております。今日お手元に、令和5年

度 I B 関係予算という 1 枚シートをお示しさせていただきました。その上半分が令和 5 年予算、今当初予算に係る内訳でございます。その中で、2 番目旅費につきまして視察、ワークショップ参加旅費ということで各校当たり 22 万 6,800 円、これがワークショップでありましたら想定であります、開催場所が未定ですので、東京開催を想定しての金額を計上しております。それが 15 校ということで、あと事務局職員にも研修視察に参加をするということでバカロレア関係で計 398 万 6,000 円余りを増額ということになります。

○竹林教育総務課長 先ほど歳入のほうで職員給食費徴収金の前年比のことでお答えをさせていただきます。

前年当初予算では学校給食の関係の職員給食費徴収金は計上されておりましたので、その分が皆増となっております。もともと当初予算で計上されていますのは保育園、こども園のほうの職員給食費徴収金でございます、差額につきましては小・中学校の学校給食関係の職員給食費徴収金が計上されることになったため増額となっております。

○中西委員 じゃ、ここで上がって、昨年当初で上がっていた 1,293 万 6,000 円というのは、これは何だったんでしょう。

○竹林教育総務課長 保育園、こども園の教職員の給食費徴収金になります。

○中西委員 小・中の職員の分の給食費代は、ここに上がっていなかったと。

○竹林教育総務課長 前年当初予算では計上をしておりませんで、6 月補正予算において給食費自体が補助金の形から直接賄い材料費で市で負担するようになった関係で、初めてそのときに教職員の給食費徴収金も計上しておりますので、昨年度令和 4 年度につきましては 6 月補正での対応でしたので、当初予算では学校給食では歳入もゼロだったということが、今回当初予算で 2,000 万円少々計上がございますので、その分が増になっているということで御理解いただければと思います。

○石原委員 先ほどちらっと出ましたが、今日いただいた資料を国際バカロレア教育に関する費用の内訳、合計が出ております。それから、先日いただいた新規事業等の概要にも I B 教育事業ということで、新規事業の概要の中では合計の予算額が 4,121 万 4,000 円となっており、ここで先ほどのこの表では 4,007 万 4,902 円になるんですかね。その差異が生じたり、もう一回この予算書の中で具体的に講師謝礼、旅費等も含めてこの中からどの費目で幾らというのを改めて御説明いただいたほうが分かりやすいかな、どんなかな。

○草加国際教育課長 予算書に沿いまして国際バカロレア関係のものを御報告いたします。

まず、予算書 162、163 ページで 8 節報償費、上段講師謝礼 80 万円、全額でございます。

その次、9 節旅費のうち、下段普通旅費 469 万円のうち、先ほど御説明しました 398 万 6,000 円がバカロレア関係になります。

燃料費 756 万 9,000 円のうち、6,000 円がバカロレア関係、それから次、12 節役

務費、下から2つ目手数料1,048万4,000円のうち、1,033万5,000円がIB関係、次翻訳料2万3,000円は全額でございます。

それから次、164ページ、165ページに移りまして、14節使用料及び賃借料のうち、最上段有料道路通行料28万4,000円のうち、1万4,000円がIB関係で要求をしております。

それから、19節負担金補助及び交付金のうち、最上段研修会等参加負担金357万8,000円のうち、357万円がIB関係、それから5つ下、国際バカロレア機構年会費2,134万4,000円は全額がIB関係でございます。

○石原委員 今聞きながら足し算しようたら、概要の4,121万4,000円というのは、もうちょっと何かの費用が加わるということですか。加わっとなんていうこと。

○草加国際教育課長 お手元の1枚物資料でIB関係予算のみを抽出した関係で誤差が生じておりますが、国際教育課として取り組む事業の中に、このほかに英語講師無料派遣事業、それから英語体験事業委託料がございます。新規事業シートには、その金額を含めたもので計上をさせていただいております。これは財政課が作成をしましたほかのシートとの数字の整合を取るためでございます。そちらにつきましては、消耗品費、162ページ、3ページの消耗品294万2,000円のうちの8万9,000円、それから164ページ、165ページ、13節委託料のうち、下から2つ目、英語体験事業委託料104万7,000円全額、これがIB関係以外で国際教育課で取り組む事業として予算をお願いしているものであります。英語体験事業委託料は2月の委員会でも御説明しましたが、イングリッシュキャンプに係るものでございます。

○中西委員 162ページの役務費の先ほど御説明がありましたバカロレア関係の翻訳料というのがあるんですが、この2万3,000円はどうして必要なんですか。

○草加国際教育課長 これにつきましては、国際バカロレア機構に提出を必須とされております学校設置条例の英語への翻訳料が必要なためでございます。

○中西委員 堪能な教育長がおられるんですけども、別に2万3,000円ぐらいだったら計上しなくてもいいような感じがするんですけども。

○守屋国際教育推進部長 この市役所内にも英語の堪能な方いらっしゃるんですが、これはバカロレア機構から外部の翻訳家と指定をされておまして、この部分の翻訳に関しては外部の方にお願いをしなければならないという取決めになっております。御理解いただきたいと思います。

○中西委員 その国際バカロレアについては委員会でも御説明を受けたわけですけども、ほかにもこれから提出する書類だとか、あるいはそういうレポート報告だとかいろいろ恐らくものがあると思うんですけども、それも外部の翻訳家に頼まなければいけないというようなものがあるのでしょうか。

○守屋国際教育推進部長 関心校以降、バカロレアがスタートしますと、英語に翻訳したり英語を日本語に翻訳したりというのは国際教育推進部内で行うように考えております。

○中西委員 つまり今回はこういう翻訳を外部に出しなさいということは指定がされますけど、今後はそういうものはないということなんです。

○守屋国際教育推進部長 そのとおりでございます。

○中西委員 164ページの委託料で英語体験事業委託料104万7,000円が計上されていますが、今の御説明ですとイングリッシュキャンプがこれに当たるということなんですけども、4年度行ったイングリッシュキャンプの参加者あるいはその内容からして次年度もやっぱり取り組むべきような課題であったのかどうか、そこらあたりの総括と反省はいかがなものでしょうか。

○草加国際教育課長 以前の委員会で第1回、第2回の参加人数については報告をさせていただいているところであります。第3回を、今週末3月18日土曜日に予定しております。この回は定員15名が定員に達して、ありがたく満員で開催をさせていただくことができます。これまで周知不足もあったかもしれませんが、徐々に参加者からの口コミであったり、リピート参加であったり、そういったことで参加者が徐々に増えていると認識をしております。さらに新年度企画等精査をした上で実施をしてみたいと考えております。

○中西委員 その3回目は、厚生文教委員会でも報告がありました。参加人数が大変少ないんで、参加者の対象を広げるということをして、この15人になったと、そのところが私は今の話の中で欠けているところだろうと思うんですけども、いかがでしょうか。

○草加国際教育課長 申し訳ございません。説明が不足をしておりました。

1月に当初企画をしましたものが実施場所が大多府であり時期が2月ということもあってか、船を敬遠されたこともあったのかというこちらの判断から今回は3月、この庁舎で開催をすることにいたしましたところ、定員いっぱいのお応募をいただいているところです。また、前回応募が少ないので、学校に再度周知をして対象拡大をしてということを申し上げましたが、今回市内の方の申込みで定員を満たしております。

○中西委員 164ページ、備品購入費、機械器具備品、これは何なのか。

○竹林教育総務課長 フューチャークラスルーム用の電子黒板の経費が1億9,140万円が入っております。

○立川委員 今のお話で機械施設器具の備品1億9,402万5,000円、電子黒板ということなんですけど、台数及び単価を教えてください。

○竹林教育総務課長 電子黒板の本体につきましては、118台を予定しております。その他プロジェクターとか教材提示装置も若干数入っておりますので、それらの総額になっております。電子黒板の単価につきましては、1台当たり77万円のものメインとなっております。

○立川委員 従来設置してあるものは、バージョンアップで使えなかった、まだ5年ぐらいでしょ。タッチパネル操作云々はありましたけど、バージョンアップとか、そういう考えはなかったですか。全部処分されるんですか。

○竹林教育総務課長 まだ使えるものについては、もちろん使っていくつもりにしております。かなりやはり発色が悪くなってきたりとか、不具合はぼつぼつあるようでございますので、そういったものを中心に置き換える、それからまだ先ほど補正のところでもお話ししましたが、故障対応等で随時スポットで更新かけているようなものもございまして、そういった使えるものについてはもちろん活用していくということで考えております。

○立川委員 それを使えるとして、まだ118台必要だということですか。これしやれにならへん金額ですし、四、五年たってまた全部変えるというて、その当初にもお話ししたんですけど、ふるさと納税充てるからえんやとかという話で、よいしょと言ってしまいましたけど、これなかなか皆さんお使いになるのが苦手みたいで結構ほりかぶってあるところもあるんですけど、これどうですか一体という疑問がわくんですけど、耐用年数はどのぐらいあるんですか。

○竹林教育総務課長 耐用年数そのものはやっぱりパソコン類の類いですので、通常ですと5年程度かと思いますが、それ以上使えるケースも当然にございます。実際の使える年数と耐用年数というのはあまり一致しないのかなと考えておりますが、電子黒板としての使い道とはやはり従前のディスプレイそのもの、モニターにつきましては同じ使い方というのは物理的にできない面もございまして、別の補助的なモニターとして使うとか、そういった別の用途での活用を考えていきたいと考えております。

○立川委員 それ全くよく分かります。当初説明、向こうで一応初めて見せてもらったときに聞いたんですけど、七、八年はいけるよと、次々新しいでしようと、新しいの出でしようということで当初申し上げたんですけど、やっぱり年数で対応していかないかんのが、ここへ来て一括で全部やりますよというプランはどうなのかなと、例えば二、三年に分けて更新するんならしていく方法、そうしないとまたこれ5年後にまた120台要るんですよ、どんと、そういう対応は果たしていいのかなという気がしてしょうがないんですけど、その辺はお考えはどうですか。また、一括でどんとやられるんですか。

○竹林教育総務課長 今回確かに一括で更新かけますと、同じような更新時期にまとめた更新という可能性が高いとは思いますが。

ただ、年次的にということになりますと、じゃ、どこから優先的に更新するのかといったようなところもございまして。やはり市内の備前市立の小・中学校足並みそろえてといいますか、公平に同じタイミングでということ考えております。

○立川委員 一括というのが公平とは限らないと思いますよ。といいますのは、5年前皆さん対応された方いらっしゃいませんけど、こうなること分かっているんですよと、5年後いつまでも税収が入ってきて豊かであれば更新できますよということを考えていかれるのはその部署じゃないんですかね。優先順位をつけて例えば東地区だけ今年度やりましょう、来年度はこっちの残りやりましょうということも必要になってくるんじゃないですか。その辺をお考えいただきたいと思うんですけど、どうしても市内一括で百二、三十台どんとやりますよと、パソコンも同じ時

期にするとパソコンとそういったフューチャールーム関係の機器全部入替えますよ、また大変なお金ですよ。ニーズは減ってくるでしょうけど、次々の対応をお考えいただきたいんですけど、今のお話だとどうしても5年後にまた一括でどんとやりますよ、パソコンにしてもタブレットにしてもそうですよ。そういったお考えは全くないということですか。もうだんだん年収も減っていくんですよ、税収も歳入も。これ5年後にまた同じようにするということよりも少し考えてほしいなと思うんですが、その点はいかがですか。

○竹林教育総務課長 負担の平準化という意味では、ずらして整備するというのももちろん考えられるところなんですけど、年度をずらしたからといって有利な財源があるかどうか、正直その年度になってみないと分からない面がございます。

ただ、今回5年度で計上するに当たって財政課との調整も含めまして、今年度で1回でいくというところが調整できておりますので、そういったところで教育委員会としましては一括でというところでのお願いで、財政課との協議におきましてもそれが認めていただけたらというところで計上になっております。

○立川委員 今後お考えいただきたいと、考えていく準備はありますかということをお尋ねします。今回予算計上されとんでしょうから、財源も豊かで余っていますからどうぞということになったんでしょうけど、違うよと、こういう機器はもうさっきおっしゃったように日進月歩です。そういったところも考えて、取り組まれたらどうですかというところ。

○石原教育振興部長 担当課長としての思いも、お聞きしていただいているところでございます。さすが立川委員からの御提案だなと、非常に勇気づけられるお言葉であったと感じております。今後も、こういう課題というのは今回だけの問題ではないと思っておりますので、ずっと学校教育というものは続いていきますので、そのような柔軟な考え方も含めてこの所管の厚生文教委員会においても、それから今日皆様からいただいた御意見も含めて今後についても十分検討してまいりたいと思っております。

○立川委員 本当に神風は何回も吹きませんよ。前回の更新のときにはGIGAスクールって神風吹きましたけど、神風待ちはやめてくださいねと思います。しっかりとお考えいただきながら、よろしくお願いします。

○中西委員 国際教育課からの資料で負担金補助及び交付金、ワークショップ参加費、候補校年会費、ここのところが負担金補助及び交付金、予算書でいえば何ページになりますでしょうか。

○草加国際教育課長 負担金補助交付金164ページ、165ページの中で最上段、研修会等参加負担金、それから5行下です、国際バカロレア機構年会費、この2つでございます。

○中西委員 164ページの負担金補助及び交付金の中のワークショップ参加費ということが出ていますけど、学校の先生は何人参加されるんでしょうか。

○草加国際教育課長 ワークショップ参加につきましては初年度、学校管理者、校長を想定しております。それから、各校に1人ずつ任命をお願いしているコーディネーターといわれるもの、

それぞれ各校2名の参加でございます。

○中西委員 つまり30名ということになるわけですね。何年かに分けて全ての職員が研修を受けると、何年間かかって研修を職員が全部受けるんでしょうか。

○草加国際教育課長 その表の下段、候補校期間というところでWSと称しておりますが、ワークショップ、可能であれば各学校校内で開催をするもの、それから中学校におきましては教科別担任になりますので8教科の担任が研修を受ける経費が6年度以降に必要であると想定しております。

○中西委員 つまり今、備前市内におられる教員の先生は何人なんですか。

○草加国際教育課長 すみません。後ほどにさせていただきます。

○中西委員 全ての先生方が初年度は別として、次年度からはこの下段の資料のようなところでの研修を受けるということになってくるわけですね。1年に何人受けて、例えば4年間で何人全部受けることができるという計算式が出てくるわけですけども、何年ぐらいで全部終了する予定なんですか。

○草加国際教育課長 候補校期間を、下段の表で真ん中に2年を想定しております。令和6年度、令和7年度、この2年間で研修を終えて、その年に認定校への申請ができればと考えております。

○中西委員 それともう一つ私お伺いしたいのは、この研修をこうやって受けると、教員の方というのは人事異動がありますよね。1年間にどのくらいの先生が出ていって、どのくらいの先生が入ってくるんでしょうか。

○草加国際教育課長 年度によって若干多寡はあるかと思いますが、すみません、この点も後ほどお答えさせていただきます。

○中西委員 常にその研修を受けなければいけないということになってくる、そこはどうなんですか。その学校の教員全体の7割、8割がもう受けとればそれでいいんですよと、2割、3割は常に受けない状態、受けてない状態があると、それはそれでバカロレアのほうは全く問題はないわけですか。

○谷口小中一貫教育課長 先進校視察で、そのあたりも質問をして確認してみました。毎年転勤してこられる先生方にも研修を、IB教育に関する研修をその都度受けていただくというようなシステムになっておるということでした。

○中西委員 負担金補助及び交付金、電子ポイント取扱い助成金（教育分）というのがありますけども、これは教育分と書いているからには何かいろいろあるわけなんかなと思うんですが、この中身について、どういうものが幾らというのは細部が分かりますでしょうか。

○竹林教育総務課長 昼食代のポイント助成事業の額が全額になります。

○森本委員長 新規事業シート1ページをまた見てください。

○中西委員 その下の教育研修諸費、役務費の手数料が昨年よりも150万円ほど減っている理

由について教えてください。

○谷口小中一貫教育課長 この学力調査の中に、各教科のテスト調査もございます。それと併せてアンケート調査のような形で学習意欲ですとか学習習慣のあたりを子供たちから聞くような、そういう調査もございます。その質問紙調査のタイプについて、全国調査とか県の調査でも行いますので、そちらのほうを活用していくということで市の調査のほうからは質問紙の調査を今回除いたということで減額となっております。

○石原委員 164、165ページ、14節使用料及び賃借料の中のシステム利用料1,148万5,000円について御説明いただければと思うんですが。

○草加国際教育課長 こちらは補正予算でも御説明をいたしましたけれども、マイクロステップスタディーのシステム利用に係るものでございます。令和4年当初は大学がもうここまで大きな取扱いがなく、少し高めの金額で提示をされたものかと思いましたが、今回令和5年度に向けて実学習人数を精査し大学に試算をお願いしたところ、この金額でお見積りを頂戴しております。

○石原委員 高めに設定、想定されておったというお話聞いてちょっと危険だなという思いもしたんですけれども、その下の工事請負費、施設整備工事について御説明いただければ。

○竹林教育総務課長 フューチャークラスクームの関係で電子黒板の設置に係ります電気工事を1,740万円の中で計上させていただいております。それ以外につきましては、各小・中の特別支援学級が新設された場合のエアコンの工事費とかが若干入っております。

○石原委員 その下の備品購入で先ほどやり取りございましたけれども、残念だなと感じましたのは先ほど口頭で118台合計でというような御説明あったんですけれども、できますならばこのような大きな新規事業の際には各校当たり幾らとか、それがどのようなこういったような電子黒板を導入を見込んでおるようなところも何か資料のような形で御提示いただけたらより分かりやすいかなと感じたところです。

その下のスクールバス、先ほどの補正予算のところでもございましたけれども、ここでは495万円計上されて、どれぐらいのサイズのこういったバスの購入を予定されとんですか。

○竹林教育総務課長 吉永方面で使用する予定にしております、ハイエースのような10人定員のものを予定しております。

○石原委員 それから、負担金補助及び交付金で先ほどございましたが、国際バカロレアに関する年会費2,134万4,000円、こちら先ほどのA4判の資料でも今後認定校続けていく上ではこの年会費が毎年必要になるであろう、合わせて全てでもろもろで年間約3,000万円必要になるであろうと試算が出ておりますけれども、この年会費というのは例えば学校の数で算出されるものなのか、規模で算出されるのか、何かこの年会費の規定というか、どういう規定になっとんでしょうか。

○草加国際教育課長 この年会費につきましては、学校規模ではなく1校当たりになります。内訳としまして、候補校年会費というのがシンガポールドルで1万3,500円、予算要求では4

年中に一番レートの高かった令和4年10月20日の105.4円を使用しております、その額でいきますと1校当たり142万2,900円となります。これが各校必要になります。

○石原委員 1校当たり140万円余りと、現状ではということよく分かりました。

166、167ページの14節使用料及び賃借料、こちらでもシステム利用料、教育ソフト使用料ですか、199万9,000円について御説明いただければと思います。

○谷口小中一貫教育課長 新規事業のあたりになるかと思うんですが、教育ソフトを考えております。特別支援教育の必要性というのは、年々高まってきております。それに対しまして、子供それぞれの支援計画を立てるわけですが、その支援計画の作成の支援を行うもの、それから先生方もやはり多種多様の特性を持つ子供たちに対応していかないといけないというところで、それに関する指導力向上を図っていく必要があるというところで、このソフトの導入を考えたいと思っておるところです。

○石原委員 164、165ページの先ほど中西委員が取り上げられました電子ポイント取扱い助成金教育分1億200万円、新規事業では何か給食費の賄い材料費と合算になって、それからいただいた当初予算の概要、トップ会談の資料ですか、こちらでは明確に1億200万円と出とんですけれども、1億200万円の中身といいますか、小学生が300円、中学生が350円のようなやり取りが先日の他方の委員会でもございましたけれども、小学生が何人で中学生が何人というようなところ、内訳をお聞かせいただけますか。

○竹林教育総務課長 小学生1,200人、中学生620人、今年度からの実績見込みでそれぞれ見込みまして、先ほど石原委員申されました小学校で300円、中学校で350円の単価で170日程度を想定して予算計上しております。

○中西委員 この新規事業のかばんの支給事業というのは、教育、その電子ポイントの取扱い助成金の中には入っていない。

○竹林教育総務課長 予算としましては、全員かばんを希望されるという想定での予算計上しております。

○中西委員 この教育分には入っていないという。

○森本委員長 169ページのところに、かばんのが上がっていますので。

教育総務費までないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

暫時休憩します。

午後2時10分 休憩

午後2時24分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

○草加教育振興部次長 お答えができませんでした市内教員数をお答えさせていただきます。

市内教員数小・中合わせて220名、内訳が小学校約150、中学校が約70でございます。

それから、異動が何人かという御質問につきまして、これまでの実績でございますが、市内と市外をまたがる異動は例年十数人程度でございました。今市外、市内だけに限定しましたのは市内10小学校、5中学校間の異動であれば、I Bとしての研修を受ける必要がなく引き続いて新任校でI B教育ができるということから、そういうお答えとさせていただきます。

○松本委員 今までいろいろ議論聞いていて教育委員会もそれなりに頑張っていると思うんですけど、こういうバカロレア教育にしても、電子黒板にしても、やっぱ学校の先生の意思統一が取れているのかなということが1つ、もう一つはそれを推進していくために、校長とか教頭の姿勢が本当にどういうていいか、やっぱりイニシアがないと何か難しいんじゃないかなと思う。そこで、学校にそういうことを申し入れるというか、ぜひ進めてくださいというふうな体制というか、そういうものを今までしてきたんか、これからどうやっていくんかとか、ちょっとそこら辺だけ聞きたいです。

○石原教育振興部長 全体的な俯瞰での御質問かと受け止めております。確かに委員御指摘のように学校現場というものを一般論としてお聞きいただけたらと思いますけれども、私どもが何かを進めようというときには非常に丁寧な説明を心がけているところであります。ですが、なかなかGIGAスクール構想1つ例に挙げてみたときに、やはりコロナという状況ということもございましたけれども、非常に戸惑いというものはあった私は理解をしております。今回いろいろ電子黒板にしても、I Bに関しましても、いわゆる授業風景を変えていくということが根底にあると私どもは理解をしております。極端な言い方になるかもしれませんが、明治の学制が始まって以来、これはあくまで一般論としてお聞きいただきたいと思うんですが、いわゆる150年間授業スタイルというものは大きく変わってきたのかと問われたときに150年間変わっていないというのが一般論としての表現で、報道などでも耳にする言葉でございます。そういったものを変えていくというのは、委員御指摘のように非常に強いリーダーシップが求められる部分も大いにあるかと思っております。

しかし、私どもの教育長事務局としましては、やはり現場の先生方の考え方であったり子供に対する思い、そういったことを一緒に共有しながら実際に授業を行うのはもう先生に当然なりますので、先生が子供たちのためにどれだけの御苦労していただいているかということを我々も現場に出向きよく認識を私もしているつもりですが、そういうふうな形で伴走型と一緒に事務局は言うだけで全てはもう学校サイドに丸投げであとは頑張ってくださいということでは、それはうまくいくものもううまくいかないと思います。ですから、そういう考え方ではなくて、教育委員会も一緒になって汗をかこうとしていただいているんだなと、現場のことをよく理解しようとしてくださっているなというふうな受け止め方をしていただけるということが大切ではないかと思っています。ですから、我々も今までに当然これは初めてのこと、I Bなどについても初めての取組にはなります。なりますが、最終的には全ては子供たちのために、これからの時代を不透明な先行きがなかなか予測しづらい世の中の動きに対応していただけるような、そういうや

は子供たちに育ってほしいということが共通の認識ではないかと私は思っております。大きな変革のときであると、このときの進め方というものはやはり時間をかけていくのも一つのやり方かもしれないです。そうはいっても、やるときにはやるという形で進めていかないといけないものもあるのではないかと、そんな思いが交錯する中で今、非常にやはり強いリーダーシップでしていかなければならないものだという認識も持っておりますので、そうはいっても現場を大切に取組を進めていきたいという考えでございます。

○松本委員 同じような感覚というか、意見なんですけど、やっぱりそこには教育長を含め石原さんも含めてトータルには人格が問われていると思うんです。言うのは簡単なんですけど、本当にやろうと思ったらそれは強さと言うたらおかしいですが、必要だと思うんです。尊敬されると同時に、やっぱり物が言えるというか、ぜひ努力してください。頑張ってください。

○立川委員 さっき数字を聞いて、私なりにちょっと出してみたんですけど、違うもんで教えてほしいんですけど、1点目、電子黒板118台77万円平均、これ掛け算したら9,000万円ですよ。費用が1億9,400万円になっとなんてですね。言葉の上ではプロジェクターが入ったりとかという話があるんですけど、申し訳ないんですけど、口頭ではなくて内訳を一覧表をもらえますか。

○竹林教育総務課長 用意してお渡しできたらと思います。

○立川委員 採決までに。同じように、電子ポイントの分も今お聞きしたら小学生が1,200人です、300円、中学生が620人です、350円、170日を想定しています、全部足したら9,800万円しかないんですよ。1億200万円、400万円の差があるんで、これも申し訳ないけど、この算出根拠をやっぱり一覧表にでもしてもらわないと、予算ですから、ふんふんと言うて聞くとひどい目に遭うなということなんで資料要求をしておきたいんですけど、委員長どうですか。皆さん納得できていますか。

○森本委員長 立川委員から資料要求が出ていますけど、させていただこうと思うんですけど、よろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

金曜日が採決する日なので、大丈夫ですか。大丈夫だそうです。

○立川委員 お手間ですが、よろしくお願いします。

加えて、この新規事業の概要があるじゃないですか。この小・中学生の昼食代に関する無償化事業2億931万5,000円、これも電子ポイント助成と需用費とが入って合計が2億931万5,000円の新規事業の概要になっとなんてです。これも数字の内訳ができれば知りたいなと思うんですけど、そっちでできますか。財政のほうですか。

○竹林教育総務課長 新規事業シートの金額につきましては、先ほどのポイントの1億200万円に、後ほど出てくるかと思いますが教育費の保健体育費、学校給食費のほうで賄い材料費という予算を取っております。その賄い材料費のうち、無償化対象となります小学生分、中学生分が

それぞれ小学生7, 204万4, 000円、中学校3, 823万6, 000円の合計になります。

○立川委員 紙ベースでお願いできたらなと思うんですけど、これも併せてお願いをしておきたいんですけど。

○尾川委員 いろいろ議論あるんですけど、1つだけ取り上げて今話があって貴重な話を聞いたんですけど、現場を大切にしたいという考え方を示されたんですけど、じゃ、国際バカロレアについていつ頃現場に話されて、要するに4月1日実施ということで、そのあたり確認のために説明してもらいたいんですけど。

○石原教育振興部長 校長会を通じて、お話をさせていただいたのは1月でございます。この取組を4月から始めるということに当たりましては、IBをいきなりこの4月から行うということではなく、この関心校という期間はいわゆる研修、勉強の期間ということになります。ですから、いきなり4月から何かが大きく変わっても現場が大混乱するというような捉え方では全くございませんので、そのあたりはまず押さえておいていただければと思っております。

○尾川委員 その辺の認識の違いがあると思うんですよ。学校現場では、やはり時期が早いと、勉強の期間、今働き方改革で何もかも先生から取り去っていきこうと、できるだけ単純化しようという傾向でありながらアウトになるわけです、説明はアウトにならんとするんですけど、そのギャップがあるわけです。その点を指摘させてもらうと、これでやり取りしたら何時間やったって一緒じゃから、そういう認識なわけ、現場は。1月に説明があって4月1日から始まり、先生真面目なから、やることになるというたらやっぱり研修だって始まるし、心構えをつくらにゃいけないわけですから、それが政治家と教育者で、ちょっと違ふと。やっぱりそのあたりはうまいこと、今繰り返すんですけど、現場を大切にしたいという話なんで。それと、先生は県の採用で市町村の教育委員会の管轄なんですけど、どこまで責任が及ぶかという問題あるん。それが大きなと思う。それもう完全に岡山市全体の岡山市だけで採用して最後まで行くんなら分かるよ。それが県の採用で、異動がどこへ行くんか分からんような状況で二、三年大体ぐらいで異動がかかるという、みんな思うと思うんです。中では長いのがおるけど、そういう状況、前提、よう知つとられると思うけど、そういうことからもう少し考えた施策をやってほしいなというのがあるんです。

○西上委員 私もバカロレアの関係で教員の教育不足を考えにゃいけないのかなということを思いますけれども、やはり備前市が目指すグローバルな人材教育の一つのツールとして国際バカロレア認定教育のプログラムが、いろいろ聞きますとこの間厚生文教委員会でも適していると考えたということで私は賛成いたします。頑張ってください。

○中西委員 立川委員が資料要求されましたけど、お願いをしておきたいことがあるんですけど、この資料集というのがありますよね。学校関係については小・中に分けて、工事請負費だとか備品購入だとか、そういう一覧があるんですよ。できれば、こういう中にその電子黒板、幾

つ来るんかというのがこの資料のときにやっぱり僕は入っとれば非常に助かるなと思うんですけど、次回からなるべくこういうところへ入れていただきたいということをお願いをしておきたいと思います。

バカロレアも、こうやって資料要求しないとなかなか分からない。電子黒板も何か話を聞くだけではなかなか分からないような数字だけが並べられますんで、できる限り分かりやすい形で理解ができるようにしていただきたいなということを、私も次回からまた研究していただきたいということをお願いをしておきたいと思います。

○森本委員長 次回からの資料請求、よろしくお願いいたします。

それでは次、166ページ、167ページの2項の小学校費から、174ページ、175ページの4項の高等学校費までを範囲といたします。

○西上委員 167ページ、13節の委託料のALT配置事業委託料5,932万2,000円です。

先ほど補正からもALTのことが出てきましたけれども、この委託に当たりまして選定方法はどうなっとなのでしょうか。

○谷口小中一貫教育課長 プロポーザルにより、業者選定を行っております。

○西上委員 プロポーザルのときの選定委員というんか、審査員というんか、そういう先生方はどういう格好でおられるのでしょうか。

○谷口小中一貫教育課長 学校現場の先生方にも御参加いただきまして、選考しております。

○西上委員 それは何名ぐらいで、どういう方々か、言えるなら教えていただきたいと思います。

○谷口小中一貫教育課長 人数のあたり確認させてください。

○西上委員 選定基準、基準なんかもありましたらよろしくお願いいたします。

○谷口小中一貫教育課長 プロポーザルのときにも、委託仕様書という形でまとめて出しておりますが、特徴的なものとしましては教員免許、母国のものも含めた教員免許の資格を持っておるというようなところが特徴的かと思います。

○立川委員 ALTのプロポーザルで落としたところがあるんですよね。もう業者決まっていますよね、プロポーザルで。

○谷口小中一貫教育課長 今年度と同じ業者、インタラックです。

○立川委員 それで、小学校も、後ほどですけど中学校も幼稚園、こども園も同じ業者ですか。

○谷口小中一貫教育課長 小学校と中学校についてはインタラックです。

○竹林幼児教育課長 保育園、こども園関係につきましては、先日のプロポーザルで一般社団法人日本グローバル教育協会となっております。

○立川委員 落としたところの一般社団法人、それからもう一つ会社上がったと思いますけど、謄本を最終日までにコピーでお見せいただけたらと思うんですが。

○谷口小中一貫教育課長 対応できるようにいたします。

○立川委員 落札業者ですから、謄本ぐらい取れるでしょう、努力しなくても。

○石原教育振興部長 謄本は取ることは可能かと思いますが、具体的な狙いは何でしょうか。

○立川委員 選定委員の皆さんに大変失礼かも知れませんが、その企業内容もやっぱり見て選定基準にするべきだと思いますので、社名、法人名です、代表者名、住所、資本金、役員の欄、そこら辺までで結構ですが、よろしくお願いします。

○石原教育振興部長 持ち帰らせていただきます。

○立川委員 持ち帰らせていただくということは、出せるかどうか分かりませんという返事でしょうか。

○石原教育振興部長 前向きに持ち帰らせていただきます。

○立川委員 そしたら、住所と社名、代表者名だけ教えてください。こちらで謄本取らせてもらいます。

○森本委員長 ということですけど、石原部長お願いします。

○松本委員 語学教育で、やっぱり子供に教えるわけですから、例えばアメリカ英語とイギリス英語違います、発音違います。それで、今さっき言われたようにその人がどういう国、それこそ日本でいえば戸籍とか経過とか、それは大事だと思うんです。

ただ、丸投げとは言いませんけど、よろしく頼むで、適当に講師集めてくださいじゃ、やっぱりそこら辺も僕は気になるのはそういうことが気になる。私も、いろいろな語学教育受けてきました。それと、例えばベトナム語私したことあるけど、北と南と全然違います。だから、子供の頃からどうのこうのという場合に、耳から入るわけだから、そこら辺については厳密に吟味する必要があると思うんです。だから、今言われたことというのは、非常にそんなに軽視すべきじゃないと思うんです。

○尾川委員 173ページの教育振興費、中学校、小学校ですけど、備品購入費で図書なんですけど、昨年の予算に比べて減額になっとなんです。これだけ図書館やるって教育長が力入れてやりようて、このあたり何で減額しとんかなという感じがすんですけど、それでもよその自治体のことはどうでもええんですけど、やはり比較したときに小学校、中学校の図書費というのはかなり溝があいと感じるんで、そのあたり去年、おとしは増額で来たのに下がったということについて説明をお願いします。

○竹林教育総務課長 中学校だけではなく小学校費でも、それぞれ図書費がございます。予算計上させていただいている額につきましては、普通交付税で算定されている額そのままを便宜上計上するようなことで来ておりますので、前年比で減という部分は人数の減に伴って減少するようなところもございますので、そういったところの影響かと思います。

○尾川委員 生徒数じゃなしに学級数じゃなかったかな、交付税の算定は。クラスは減つとるか

もしれんけど。

○竹林教育総務課長 確認させていただけたらと思います。

○尾川委員 それと、減す、減すというて、私はキープしていかんやいけんのんじゃねえかということを言よんですよ。交付税の措置の算定基礎でいきよんじゃという、いつも決算のときも説明聞くんですけど、やっぱりそれはいろんな施策見たら金どんどんかけようが。だから、これについてもかけていくべきじゃねえかという質問しょんです。

○竹林教育総務課長 来年度以降検討したいと考えます。

○尾川委員 交付税の算定基礎、ちょっと調べて。

あわせて近隣の自治体の小学校、中学校の決算ベースでもええし、予算ベースでもええし、比較してみてください、資料請求で。

赤磐、瀬戸内、和気町、そんなもんかな。

○中西委員 168ページ、使用料及び賃借料、テレビ受信料が昨年より2,000円増えているんです。あとその下のテレビ共聴アンテナ使用料が昨年は4,000円だったのが今年は16万円に上がっているんです。これはどうしてなのでしょう。

○竹林教育総務課長 NHKの受信料になりますので、1台当たり年間1万4,205円と今現在となっておりますので、その額で14万3,000円ということで積算しております。

テレビ共聴アンテナの使用料につきましては、三石での共聴アンテナの改修がございまして、その負担金部分として令和5年度限りでかかっている部分が15万6,000円ということで計上させていただいております。

○中西委員 そしたら、14万3,000円が正しいということになるんですけど、去年のは計算間違いだったということになるわけですか。

○竹林教育総務課長 今年度不足とかが発生しているわけではございませんので、単価が変わっているかと思いますが、確認が今できておりません。

○中西委員 教育振興費の需用費、消耗品費、これの内訳を教えてください。

○竹林教育総務課長 消耗品費1,832万8,000円につきましては、小学校での学用品の無償化の関係の消耗品費でございます。この消耗品費を各学校に配分しまして、そちらで一旦購入するという形を取ろうと考えております。

○中西委員 新規事業の概要で見ると、まちづくり応援基金繰入金から入るものですか。

○竹林教育総務課長 財源としましては、そのようになっております。

○中西委員 同じ168ページの備品購入費ですけど、ここも図書が減っているんですね。昨年の当初予算が368万9,000円、あんまり大きな金額ではないんですけども、少なくともこれより下がらないように充実させてほしいというように思うんですけども、下がっている理由は何でしょうか。

○竹林教育総務課長 図書費につきましては、先ほどの中学校費と同様でございます。また、教

材備品につきましては、各学校に配分いたします児童数、人数に対しまして1人当たり1,500円の単価で配分をするようにしておりますので、人数の減少が若干の予算減ということで表れております。

○中西委員 この消耗品費とこの教材備品というのは、これはどう仕分されるんでしょう。

○竹林教育総務課長 消耗品費につきましては、ドリル教材ですとか、そういったものを想定しております。また、こちら教材備品につきましては、個人個人に配るような教材とはまた別でして、理科の実験器具ですとか、例えばCDプレーヤーのような備品ですとか、そういったものを予定しております。

○中西委員 19の負担金補助及び交付金、給食費補助金は何なんですか。

○竹林教育総務課長 こちら備前市立の小・中学校以外の学校の方の給食費部分につきまして補助金という形で計上しておりますが、実際にはポイント事業の中でポイントとして付与していく形になるように制度設計しております。

○中西委員 そのポイント事業というのは、その都度、都度聞かないと分からないもんですか。どっかに固めてあるわけではない。

○竹林教育総務課長 先ほどの1億200万円のポイント助成事業助成金と、もうこの給食費補助金のみでございます。

○中西委員 2つだけなんです。同じ負担金補助及び交付金の中に、昨年度は全国大会の補助金が出ているんですけども、今年度は全国大会はどうなるんでしょう。

○竹林教育総務課長 全国大会の補助金につきましては、従前小学校費、中学校費、高等学校費で少しずつ分散して予算計上がありました。やはり全国大会、あるときとないときの実績の差が大きいものですから、事務局費で一括計上して小・中・高、どこか大きい部分が出てもある程度対応できるように事務局費に計上替えをさせていただいております。

○中西委員 その下の扶助費の要保護・準要保護児童就学援助費、これが昨年から見るとぐんと縮小しているわけですけども、これはどういう理由なんですか。

○竹林教育総務課長 それぞれ同じ理由にはなりますが、給食費とか学用品費の無償化の関係で対象部分が保護者の費用負担が発生したときに就学援助費とかが発生するようになるわけですし、無償化で保護者の費用負担がないとなりますとその部分、就学援助費とかが少なくなるということでの減少です。

○草加副委員長 169ページの14節の使用料及び賃借料、システム利用料があって、デジタル教科書のことだと思うんですけども、小学校と中学校で電子デジタル教科書が導入されるということなんですけども、従来の紙の教科書はどうなるのかと、こういった形でデジタル教科書が導入されるのか、教えていただければと思います。

○竹林教育総務課長 デジタル教科書導入後も紙の教科書と併用ということが文科省からも言われておりますので、デジタル教科書入れたから紙がなくなるというわけではございません。紙の

教科書と併用になります。

○草加副委員長 例えばPDFファイルを読み込むだけとか、何かシステムがあって、それで授業の内容を直接書き込めるようにするとか、どういうふうにデジタル教科書として使えるのかということなんですけども。

○竹林教育総務課長 今想定しておりますのは、その教科書会社のサイトにログインをそれぞれしまして、ブラウザー経由で内容を見ていただくというようなことになろうかと思っています。書き込み等の機能についての詳細は仕様を決めていく中で決定していこうかと考えておりますので、今のところそこぐらいの状況です。

○尾川委員 このデジタル教科書の関係で、今言う大体いつ頃までは併用する、それから今言う学校現場としたらまだ併用、2024年ぐらいで併用か、まだ完全にこれも入れるところもあるし、入れんところもあると理解しとんですけど、そのあたりは備前市としたらの考えを説明してください。

○竹林教育総務課長 今回予算計上させていただいている額は、全教科対応ということで予算計上させていただいております。

ただ、紙の教科書につきましては、文科省が併用ということで現時点では言っておりますので、全国的な流れとともにそこがどう変わっていくかというのは、ちょっとこちらでもなかなか分からない部分でございますので、何年度頃まで併用するのかというのはなかなかお答えができませんところでございます。

○尾川委員 英語だけでも先行するのかなと思っとったんですけど、学校現場というのはどういう動きというか、対応があるんですか。強制的にもうやっていけというて与えてしまうんでしょうけど、実際現場はどういう対応意識を持っとんですか。

○竹林教育総務課長 現状でも、主要な科目でデジタル教科書というのは、指導者用として今導入されているところであります。子供、児童・生徒が使う学習者用というのは、まだ入っておりません。現状、指導者用の主要な科目で使っているところを、主に児童・生徒も同じものが見えるようになるといったところで、授業での活用の仕方というのも現状では教室内にあるモニターに映すだけのところが個人個人のタブレットで見えるようになって、活用の幅も広がってくるんじゃないかなと考えておりますので、その活用の仕方というのもある程度それぞれの先生の力量というところもあるかと思いますが、いずれの教科でも活用いただければと考えております。

○尾川委員 このデジタル教科書の問題で自主事業というのが行われて本格的に導入した、そのあたりは備前市としてはどういう評価して導入に全教科踏み切ったという考え方なんですか。

○竹林教育総務課長 文科省もデジタル教科書の導入というのは進めようとしておりますので、そういった流れに若干でございますが先駆けるような形で導入を考えているところでございます。

○尾川委員 もうこれで終わりにしますが、学校現場の子供たちがどういう印象か、あんまり

大人の感覚で持て余さんほうが、ある程度私は自然体でという、あんまり変化させるのはどうかなど。よそから比べりゃ備前市が遅れる、でも学力テスト見たらそんなに物すごい優秀じゃねんじゃから、積極的に学力テストの公表もようせなんだぐらいなんじゃから、その辺をよう加味しながら現場に合うた教育実践をやってほしいというのが個人的な意見です。何かあったらお願いします。

○竹林教育総務課長 今の小・中学生は、もう生まれたときからデジタルデバイス、タブレットですとかスマホですとか、もう普通にありふれた中で育ってきた子供たちです。私たちがデジタル教科書をすごくハードルを上げるような何か特別に新しいことをするかのようになるわけですが、その子供たちからすると逆にある意味家庭の中でも使い慣れているような部分はあるかと思いますので、そういったところでは逆に子供たちのほうがすんなりなじんでいくんじゃないかなという気はしております。

○尾川委員 そういう解釈もあるんですけど、やっぱりいろいろ学者によってはデジタル化というのについての疑問点の指摘もあるわけですから、そのあたりもただ子供がゲームしょうるからデジタルじゃというんじゃないしに、本来的にペーパーで本を読んできちっと鍛えていくということを教える、そういう教育もあってもええと思うんで、そのあたりを考えてほしいというのは私の今まで質問の趣旨なんです。

○谷口小中一貫教育課長 紙媒体には紙媒体のよさというものが、やはりあると思います。例えばデジタルの場合で、電波状況によって途中で見えにくくなるとかというようなこともあるというように話も聞いておりますので、そういうときはやっぱり紙媒体の安定感、それから紙媒体でじっくりと見て考えてというところも、そういうよさは生かしていきたいなと思います。また、デジタルのよさとしては画像を拡大して見られるであるとか、それから実際にその動画の資料なんかを子供たちが身近な端末で見られるといったような、そういうよさもあると思います。ですので、紙媒体のよさ、それからデジタルのよさというところを考えながら活用できたらいいのかなというふうに思っております。

一方で、やっぱり今世間的に問題になっているのがメディアコントロールといったようなところもありますので、その辺のバランスというところも取り組んでいく、これは学校、家、双方で考えていかないといけない問題かなと思っております。

○中西委員 168ページの負担金補助及び交付金、給食費の補助金、市外に通っている子供にポイントを付与すると、小学校で市外に通っている子というのは何人ほどいるんでしょう。

○竹林教育総務課長 現状は小学校5人、中学校25人でございます。

○石原委員 小学校費、小学校、中学校には共通するところがありますけれども、13節委託料のところでは工事設計監理委託料、小学校費のところでは500万円、中学校費のところでも500万円で、これ読みますと伊部小学校、備前中学校移転に関し必要となる施設等の調査設計等を行う事業とのことですけれども、これじゃ、伊部小学校、小学校費の設計ではどういう調査がなさ

れて、中学校費ではどういう調査がなされるか、何であえて2つに分かれとんかなと思ったんですけど。

○竹林教育総務課長 現時点では、小学校費側ではやはり移転前後で必要となります、仮にあとどういったことで使うかといったところもありますので、そういった調査等、設計も含めましてできたらと考えております。中学校費側は、移転しました、今時点での想定備前中の敷地内でございますので、そちら側での必要な改修ですとか、仮に今想定されますのは特別教室、やっぱり不足する可能性が高いということもございますので、不足する教室についてどの程度整備が必要になるのかとか、そういった調査とか基本設計のようなところまでできたらというぐらいの額で計上させていただいております。

○石原委員 この方針はさっきもありましたが、11月の議会で市長が答弁されて方針ということなんでしょうけれども、こういったことは特に備前中学校、伊部小学校になるんでしょうけれども、学校現場へはどういう形でお伝えをされて、これまでの経緯ですけれども、主なところでお聞かせいただければ。

○竹林教育総務課長 各校長への説明といったようなところでは、行ってきたところでございます。

○石原委員 地域であつたり保護者の方向けには何らかの、あくまで方針ですけれども、大きな方針でしょうから、何らかのメッセージなり意見交換なり、これまでの経緯の中でされておることはいかがでしょうか。

○石原教育振興部長 まず、年内におきましては、伊部地区との懇談会を実施しております。その中で、市の考え方を説明させていただいております。保護者の方々につきましては、これからということになるかと思っております。

○石原委員 こういうような大きな出来事でしょうし、こういうことこそ予算が可決されねばというようなこともいろんな分野でありますけれども、こういうことこそしっかりと地域の皆さん、それこそ当事者、子供さん、保護者のところもしっかり巻き込んでというか、一緒になって進んでいかんと、よかれと思うてすることがまたちょっと思いが伝わらんような場面も想定もされますので、よくそのあたりは留意をされてということと、それからこれも小学校、中学校費に共通しますけれども、工事請負費の中で恐らく小学校、中学校それぞれ体育館のLEDに係る工事費、2つ両方で八千二百数十万円ですか、片上小学校と吉永中学校以外になるんですか、これが当初リースで想定されとったものがこういう形で工事で八千数百万円の変更となったんですけれども、リースのときとこうやって直接工事の形、どういう費用の面であつたりというところでは有利性というか、そういうようなところお聞かせいただけたら。

○竹林教育総務課長 リース時点での総額、ざっと5,400万円程度でございました。見積り時点でございますが、5,400万円程度でございました。工事では、そこが8,000万円強ということで、財源等も含めまして今後過疎債等も検討しながら、組み替えていけて過疎債等が

使えた場合は、そこが7割交付税というようなこともございますので、そういったところの有利性を検討しながらいっているということもございますし、債務負担行為でリース契約して使用料払うほうが財政上はそちら経常経費として毎年毎年払うというようにところでございますが、工事になりますとそこが臨時的な経費で1回でおしまいというようにところでございますので、財政運営上の有利性というところで今回リースから工事に組替えという流れになったということ御理解いただけたらと思います。

○石原委員 先ほどあったリースで5,000万円幾らでしたか、何年かで7年、8年ぐらいでそれぐらいでしたか。何年だったか。

○竹林教育総務課長 8年間で。

○土器委員 伊部小学校の件が出たんだけど、伊部小学校の子供は6年たったら中学校行くんです。それで、学校変わるというところで、300メートルか400メートル変わるだけなんです。それから、伊部東地区なんです。西地区へ行くとか、浦伊部行くと云うわけじゃ、もう一個大きゅういや、香登へ行くとか片上に行くと云うわけじゃないんです。それから、平成28年に了解取ったわけなんです。ようその辺を言って、意見等言っていたきたいと思うんです。

○石原委員 そのあたりも提案されとるこちらに状況、それからこれまでの経緯、今後について確認をさせていただいたまでのところなんです。

○尾川委員 特に小学校、中学校で光熱水費がもうその倍近く上がるとるんです。これだけ予算取ってくれとるということは、子供もクーラーを使えるのかな、暖房も使えるのかなという感じがあるんですけど、その辺の考え方についてどういう工夫でこういう予算立てたかというのを触れてもろうたら、子供が喜ぶと思うんで。

○竹林教育総務課長 令和5年度の当初予算編成するに当たって、何かを我慢していただくような計上の仕方というのはしておりません。あくまで前年なり実績見込みのペースで今の単価に合わせて計上しているところでございますが、学校現場にも不要な電気はなるべく消していただくとか、そういった小さいところでの節電というところでは御協力をお願いしたところでございます。

○立川委員 168、169ページ、小学校費の教育振興費、8節の報償費304万9,000円、記念品等ですが、かばんの購入だったんですね。小学生が1,200人、1学年200人として1万5,000円の200人分で300万円という計算になっとんですが、これ配布の仕方を説明を読みますとマイナンバーは要件なんですけど、小学校の入学予定の児童向けに通学かばんまたは電子地域ポイント1万5,000円分の支給を行うと、これかばんを配る事業なんですか、それとも1万5,000円のポイントをやる事業なんですか。これ見方は、どのぐらいを見ておられるんでしょうか。

○竹林教育総務課長 予算計上としましては、新入学生皆さんが仮に備前市立小学校に入学して

皆さんがかばんを希望されても買えるような予算計上の仕方としております。

○立川委員 かばん買う事業で予算計上しているけど、内容見たらかばんを買うのか、1万5,000円のポイントを渡すのか、どっちにウエートを置いておられるんですか。

○竹林教育総務課長 先ほど全員が備前市立小学校入学しても買えるようにということでしたが、実際問題、市外の例えば私立に通われる子とか支援学校ですとか、そういった市立小学校以外の学校に行かれるときに、果たしてじゃ、そのかばんを使うのかと言われますと、やはりその学校、学校で買われるケースですとか、市販品で買われるケースもあるかと思います。そういったところでは、市立学校に入学される子にはかばんは現物として用意しますが、それが不要であるとかという方にはそれ相当のポイントでということと考えております。

○立川委員 どちらにウエートを置かれているんですか。事情は全くよく分かります。

ただ、市立の小学校行くんであればあれですけど、市外へ行くとか特支へ行くとかということろでしたら、ポイントで渡しますよということだと思んですけど、どちらにウエートを置いておられるんですか、この予算はというお聞きです。

○竹林教育総務課長 予算は、あくまでかばんの購入費でございます。

○立川委員 かばんの購入費ということであれば、これ小学校の通学かばんですよ。一応説明ではモンベルのかばんとかというて私もネットで見ましたけど、四角いランドセルみたいなやつですよ、1万5,000円。これ学校側はオーケーと言うたらおかしいですけど、学校側はどうなんですか。これを推薦するんですか、市としては。じいちゃん、ばあちゃんはランドセル買うてなと言うたら、うちらもそうですけど、約束しています、1年前から。それをやめてこれにしろよと、これやったらただやでというお話ですよ、市が支給しますよ。ただやから、あの約束これねと、それでいいのか。それとも、市販のやつを買って差ができますよね、どうしても。僕モンベルのかばんやねんというても、1万5,000円やろとか、これ母ちゃんに買うてもろうたやつ5万円やでとか、そういうのが混在するのをもう想定しているということいいんですか。それとも学校指定か何かされるんですか。

○竹林教育総務課長 今のところ併用で考えております。

○立川委員 問題が起こらないことをお祈りしますけど、マイナンバーがついとんで、それ以上言いませんけど、できるだけ学校側とすればどういうお勧めをするんですか。市役所から配りますという申請をもらうんですか、学校を通じてこの申請をするんですか。

○竹林教育総務課長 令和6年度の新入生に向けてになりますので、学校経由ではなく直接郵送、またはこども園、保育園経緯を検討しているところでございます。

○立川委員 しっかりPRをしていただいて、問題が起こらないように御配慮いただけたらと思います。

○谷口小中一貫教育課長 先ほどALTのプロポーザルの選定に関わる人員の御質問があったかと思います。それについてお答えをさせていただきます。

小学校、中学校のALTのプロポーザルでございますが、全員で8名で半分が学校の先生、残りの半分が市教委の事務局員ということになります。

○森本委員長 ほかに質問のある方、高等学校費までです。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

休憩に入ります。

午後3時28分 休憩

午後3時43分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

174、175ページの高等学校費まで今来ているんですけど、ほか質疑ある方。

○竹林教育総務課長 先ほど尾川委員から御質問いただきました図書費の件でございます。

交付税で積算の基になっておりますのは、学級数でございました。学級数そのものは若干の増になっておるところなんです、国の交付税算入の単価が若干下がったというところで多少減額となっております。

○中西委員 午前中の補正予算の審議の中で、高等学校の備品購入費、機械器具備品、これが1,250万円、電子黒板だったと思うんですけども、補正予算では落ちているんですけど、当初はどこで計上されているのか。

○竹林教育総務課長 フューチャークラスルームの整備につきましては、小・中学校だけで考えておるところでございます。

○中西委員 高等学校で4年度はつけていて、この補正予算で落としたわけですけど、もうそれは考えないと、高等学校については考えないということなんですか。

○竹林教育総務課長 小・中学校の整備で現状でも使えるディスプレイといいますか、モニターとかございますので、そういったところも活用を考えていきたいと考えております。

○中西委員 その高等学校での新しく機械は更新しないと、もともとじゃ、古いのあるんですか。それとも、ないけども小・中学校の古いやつを持っていくということなんですか。

○竹林教育総務課長 比較的新しいものもございますので、そういったものがもちろん無駄にならないように活用するケースの一つとしては考えております。パソコン等も、必要に応じて個別に対応することを考えております。

○中西委員 つまり小学校、中学校の中古品をこの高等学校へ持っていくと、パソコンについては個別に対応するということなんで、意味がよく分かりませんので、どういうことか教えていただければと思います。

○竹林教育総務課長 中古品と言われますとあれなんです、かなりその程度に差がございますので、片高につきましては人数も限られておりますので、そういったところで活用を考えていきたいと考えております。

○中西委員 私は、片上高校というのは備前市の誇る財産の一つだと思っているんです。だか

ら、ここはもっと教育委員会としては大切に扱ってほしいなと、私の意見を言うておきます。

174ページの役務費、昨年度は通信費が21万4,000円ついていた。今回通信費が全くなっているんですけど、大丈夫ですか。

○竹林教育総務課長 高等学校管理費のほうで計上があります。

○森本委員長 高等学校費までいいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次は、176ページの1目の社会教育総務費から183ページ、図書館費までを範囲といたします。

○尾川委員 まず、177ページの報償費の成人式記念品、今度130万円で昨年度が29万1,000円、その前も29万1,000円で、あんまり極端な差つけんほうが、年によってまた上がるということは下がるということがあるんかも分からん、そのあたりのこの130万円にしたというのは成人式もそんなに今年より増えることはないと思うんじゃけど、どういう考えでこんな上下するんですか。

○波多野社会教育部長 備前市も少子化対策じゃないですけど、備前市で二十歳を迎えた人をやはり一生の記念になるような記念品を出そうということで、実は令和4年度も社会教育総務費の中からいろんな執行残を組み合わせで同程度のものを令和4年度も記念品で出しております。それに引き継いで、令和5年度も令和4年度と同じようなものを出そうということで、当初予算で見ますとかなり大幅に4,000円近く品物をアップしておりますが、4年度に引き続いて5年度も出すというところで組みました。

○尾川委員 そんな予算というてあるん。金が余ったからというて、かき集めて使うたらええという、そういう感覚というのはえんかな、そしたらこんなもんええ加減で決めときゃええんじゃねんかな。そういうわけにいかんの。これわざわざ議論することじゃねんじゃねん、多いじゃ少ねえじゃというて。

○波多野社会教育部長 もちろん流用できない予算というのはございますが、同じ需用費の中で流用は可能でございます。いつもこつもそういうことをやってというわけではございません。今年、来年と同じように二十歳を迎えた子に一生のものをあげようという気持ちでしたことでございます。

○尾川委員 同じことばあ言うけど、井じゃねんかな。あんまりやり過ぎてもいけんし、差をつけて急に上げたり下げたりするのは、じゃ、固定的にやれと言うんじゃねんですけど、しかるべき手続してやっぱり了解取りながらやっていくというのが、勝手に担当者の裁量でやりゃええんじゃったら予算制度要らんのじゃねんかな、答弁してください。

○波多野社会教育部長 一担当の気持ちで予算は動くものではございません。やはり上司あるいは周りの人と相談して、上の了解を取ってやったことございます。そういうことを、いつもこつもというのはございません。この成人式に、何度も言いますが二十歳になった人に記念になる

もの、一生残るものをあげようという気持ちで行い、令和5年度もそれに引き続いて予算計上をしたものでございます。

○中西委員 177ページの委託料、夜間学び直しというのが昨年から見ると落ちているんですけど、この学び直しはもうやめたということなんですか。

○波多野社会教育部長 学び直しをやめたわけではなく、国、県の補助事業をやっていたときにまなび創生会というところに委託して行っておりましたが、昨年も同様の形を取りましたが、その中の学び直しにつきましては8番報償費の講師謝礼の中に学び直しの講師になっていただく方60万2,000円のうち24万7,000円、これを学び直し事業の講師謝礼として直に講師謝礼として組み入れさせていただき、続行をさせていただきます。

○尾川委員 備前まなび塾委託料で、これちょっと下がってんですけど、下がった理由と、それからどんな方向でやっていくかということについてお尋ねします。

○波多野社会教育部長 まなび塾の委託料につきましては、やはり子供の減少によりまして各公民館でやっておるところのいろんな聞き取りをしたところ、予算はこれくらいで大丈夫じゃないかなということで上げたものであります。こちらでマイナスシーリングや切り詰めたものではなく、これで十分運営できるといったところで上げた予算であります。今後につきましては、一般質問でも議論になりましたけども、まなび塾の委託料、その下に体験教室、これがまなび塾のプラス部分なんですけども、そちらを大いに活用して長期休業中の例えば放課後子供教室的なものとか、いろんな体験活動を主に増強していこうという展開を考えております。

○松本委員 私8月だったか、11月だったか、備前まなび塾のことで、さっき学び直しのことで一般質問でもしたんですけど、思い出して繰り返しますけど、外国人実習生に日本語を教えたと思うんです。それで、日生におるときは10人から20人も来たことはないけど、それぐらい来ていた、備前市に市民会館に移って今年何名来たか教えてほしいんですけど。

それと、県や国が予算落としたからやめましたということが大体の理由だったと思うんですけど、備前市で外国人との共生ということはいろいろうたって格好いいことばかり書いていますけど、身近な共生というのは外国人実習生含めて留学生、そういう方々に留学生は別ですけど、実習生なんか本当日本人と備前市民と同じように住民税払い法人税払い税金をきちっと払って、それで日本に来て、それでそういう方々に何か恩典といいますか、サービスといいますか、やっぱりそういう観点で私質問したと思うんですけど、検討してくれますで終わって結局、来年度も幾ら予算計上しているか分かりませんが、24万円ですか、講師料の、そのことについてどうしているのか、教えてほしいです。

○波多野社会教育部長 まず、最初の御質問ですけども、夜間学び直しをやっていた頃は登録者が10名で、そのうち実際に日生中学校に来られていた方は3名から4名でした。そこで、経緯を申し上げますと、確かに夜間中学は岡山市で開かれることが決まって、県の補助事業からではなくりましたが、その際に夜間学び直しをもう少し広げて、もともと私どもも外国人だけを対象

にやっていたわけではなく、もう一度中学の頃からの勉強もやりたいといった備前市にお住まいの方が対象でやっていたわけでした、その際に市でも自由になるんなら場所もいろいろ日生だけでそういうことをせずに、例えば市民センターにでも移したらどうでしょうかということはこの厚生文教委員会でも言われ、また参加者にも聞いてみたところ市民センターでも結構ですよ、じゃ、新たな層を開拓しましょうということで今の市民センターに移した経緯がございます。これはもちろん単独の市の事業ですので、もう一度申し上げますが、あくまでも外国人だけの方が対象ではなく、広く年配の方の生涯学習としてやっていくという方針は変わりませんし、場所についても市民センターに移ったからもし減ったんだというようなことがあれば、もちろんいろんな場所でやっていいわけですから、それなりに融通を利かせてやっていきたいなと思っております。ちなみに令和4年度は今来られているのが3名、1人は日本の方、お二人が外国の方でございます。

○松本委員 今の話はここ一、二年ですか、コロナで夜どうのこうのということで下火になったと、日生やっとな、初年度とかコロナがなかった頃はデータが分かったら出してほしいんで、もっと増えて二、三人とか、そんなんじゃないです。だから、コロナの影響でそうなったけど、実際これからコロナがどうなるか分かりませんが、下火になって、それと実習生はやっぱりあの当時は全体で250人、日生で100人ぐらい、日生が一番多かったんです、カキということもあったり、それで今カキも3年食種になって、割と余裕も出てきたし、そういう点ではどういうていいか、日生をどうのこうのと言うんじゃないですけど、実習生も多い、市民も多い、税金も払っている、そういう人のサービスを続けるべきじゃないかなと思うんですよ。それで、日本人を対象に夜間中学の問題も含めて、学び直しというのがあったと思うんですけど、その人数は思ったより増えない。そしたら、それと並行して今一緒に合体して、別に外国人を日本人をどうのこうのだけじゃなしに、両方やればいいと思うんですよ。だから、復活してもう一回考えてほしいと思うんです。今年はもう間に合うんか、間に合わんか分かりませんが、だからそういう観点を忘れてもらいたくないと思うんです。

○波多野社会教育部長 日本人だ、あるいは外国人だという縛りは一切なく行っていくつもりであります。

ただ、初期において、やはり外国人の方が多かったということもありますので、企画課の国際担当とは話を密にしながら、我々も講座として行っていく限りはたくさんの人に参加していただくというのが一番でございますので、どうやったらもっと多くの方に学び直しに戻ってきていただけるかというのは協議しながら、令和5年度も進めていくつもりでございます。

○青山委員 同じ177ページの13委託料、昨年行事企画運営委託料、スクールコンサートがあったんじゃないかと思うんですけど、どのように実施されたのか、今回これがないんですけど、なくなった理由も教えていただけたらと思いますけど。

○森本委員長 それ決算のことになってくるんで、中身は聞けないので。予算みたいな言い方を

してください。

○青山委員 予算から削られているんで。

○畑下教育文化振興課長 来年度の予算につきましては、文化財団へこの事業については委託され、そちらのほうへつくようになりますので、予算がなくなったわけではございません。

○立川委員 178、179ページ、13節委託料、下から4つ目ぐらい、施設管理委託料50万8,000円、その3つほど下、施設設備総合管理委託料790万8,000円、この辺の違いと委託先とについて御説明いただけますか。

○波多野公民館活動課長 先ほど言われた、まず下から5行目の施設管理委託料につきましては、市民センター、日生市民会館、吉永地域公民館におきます夜間の管理委託で、シルバー人材センターに夜間の管理人を派遣していただいている施設管理でございます。

それから、下から2行目の施設設備総合管理委託料につきましては、これは先ほども申し上げた市民センター、市民会館、吉永地域公民館のホールとか音響、それからそういう大きい施設を持っていれば必ず法定点検が必要になりますので、もし何かあった場合に来ていただく方と、それから法定点検をしていただく方の管理委託料になります。業者につきましては、これについては入札で行います。

○立川委員 夜間の分が施設管理の委託料ということで理解しましたが、年に何回ぐらいの点検にかかるのでしょうか。

○波多野公民館活動課長 年に何回ということではなくて、もちろんもう通年を通して何かあれば、前は常駐をしていただいていたんですけども、常駐をしていただくまでもなく、いつも連絡を取り合いながら何かあったらすぐ来ていただくということですので、法定につきましては年3回見ていただく、あるいは消防の点検の際に同席していただくというようなことでございます。

○立川委員 年3回の法定と、あとはクラシアンですね。いつでもどこでも駆けつけまっせと、ありがとうございます。

○中西委員 同じところなんですけど、その施設整備総合管理委託料、昨年が990万1,000円ということで、200万円ここで差が出るんですけど、これはやっぱり入札の結果ということなんでしょうか。

○波多野公民館活動課長 市民センターに常駐あるいは日生、吉永に毎週回っていただいていた分を、常駐あるいは来ていただかなくても、もう会社にながらウェブ等あるいはもう連絡等で常駐をなくしたために減ったものでございます。

○中西委員 続きまして、180ページの使用料及び賃借料、テレビ受信料が昨年は15万9,000円、今年が17万3,000円、大変少ない金額のところでお伺いして申し訳ないんですけども、これはテレビの受信機が1つ増えたとか、そういうようなことなんでしょうか。

○波多野公民館活動課長 これはこの後出てまいります日生西公民館解体の予算を上げているんですが、日生町時代からそこにとまり木という団体さんが常駐をしておられまして、その西公民

館にずっと物も置いて常駐する代わりに、しかもテレビも見させていただきたいということで、そこがテレビ受信料を昨年度まで払っていた経緯があるそうです。しかし、今後もう移転等も検討しておりますし、やはりその館のテレビ受信料というのは館が払うべきじゃないかということで、令和5年度そこを追加でつけたものでございます。

○藪内委員 181ページ、その下の15節工事請負費、施設整備工事1, 167万9, 000円、内訳をお教え願いたいですが。

○波多野公民館活動課長 一番上の施設整備工事でございますけども、日生東公民館のパーティション設置、それから東鶴山公民館の玄関タイルがかなりひび割れておりますので、そちらの整備、それから日生西公民館、その下の解体撤去で上げておりますが、解体後併せて跡地を駐車場として整備するもの、この3工事が施設整備工事でございます。

○藪内委員 その先ほど言われました跡地駐車場整備工事で、この駐車場は何台駐車できるか、そして管理はどこか。

○波多野公民館活動課長 日生西公民館を解体したら、解体後のスペース的には約40台車が止められるようになる予定でございます。もちろん解体工事とセットでやれば、入札しても責任者が一本化ということで安くできるということで公民館のほうで上げましたが、解体後の駐車場整備とその駐車場の利用につきましてははすぐ日生総合支所も下になりますので、跡地は日生総合支所で管理運営をしていただこうと思っております。

○藪内委員 先ほど名前が出ましたけれど、とまり木等、今まで西公民館に入っていた団体の方は、そのすぐ上の総合支所の建物内に移るのでしょうか。

○波多野公民館活動課長 今、定期使用されている団体が4団体あります。FOS少年団については、活動を休止するか、何人かで公民館に集まって活動するかということで今検討中であります。じん肺患者同盟につきましては、地域公民館に会合だけであれば貸し館として受入れは可能、あるいは和気支部と一緒にいるかというところで検討中であります。ゆうあいクラブですけれども、今改修工事のために事務所を移転しておられますが、改修工事が終われば総合支所のほうに戻られるということでございます。とまり木につきましては保健課健康係の関係になりまして、今移転場所を検討中ということでございます。

○松本委員 公民館の駐車場に関してですけど、話題提供なんですけど、役場周辺で、いつも土日になったら特に冬の間はもうカキオコの行列から何からいっぱいあるんです。それで、地域住民は声出す人もおりや、黙っとる人もおりますけど、例えばカキオコだとか、あそこの日生の店、商売している人は250号、パオーネからあそこら辺ずっとですけど、駐車場を、いっぱい割と私はあると思うんですけど、市営駐車場に駐車をせずに市民会館の周りだと役場だとか、もういろんなところへ駐車するわけです。それで、この40台の今度駐車場ができと言いますが、例えばカキオコ店をしているところは2台ほど止めるところがあって、お客さんが要は周辺に止めるわけです。だから、この40台をいかに利用するかというのが、非常に大切な一つの鍵

を握っていると思うんです。だから、そういう問題も含めて、この新たにできる40台の駐車場を例えばカキオコの店に2台専用に定期的にお願ひ、駐車場借りてくれんかなとか含めて、やっぱりそういう対策を取るべきだと思うんです。ほんで、駐車場の問題はありますけど、やっぱり全部利用されてないです、ふだん。だから、そういう問題も含めて、ここに新たな40台の駐車場できるんなら、そこを遊ばさずにそういう問題も含めてぜひ対策を取ってほしいと思うんですけど、どうでしょうか。

○波多野公民館活動課長 もちろん今の西公民館のところも栄町さんですか、そちらのほうに貸してらっしゃいますけど、月ぎめでお金を取ると満杯にならないというようなこともあるそうです。私どもも変な車といたしますか、置きっ放しの車が増えてきても困るわけでありまして、ある程度の規制は必要かと思いますが、今の日生総合支所も工事が終われば周辺の車も広がるというわけではなく、当然総合支所に来るお客さんも必要だと思いますし、それから観光客のために便宜を図るということも必要かと思っております。総合的に判断して、総合支所と決めていきたいと思います。

○石原委員 179ページの公民館費の13節委託料の中で施設清掃委託料、こちらが大きく減っておりますけれども、この背景というか、状況をお聞かせいただければと思うんですが。

○波多野公民館活動課長 この施設清掃委託料につきましては、通常清掃も業者清掃で行ってありました。これは市全庁的にそうなんです、通常の清掃につきましては職員がやっていくという方針の中、その分を減額し、職員ではできないところ、特殊技術が必要なところを清掃委託料として残したものでございます。

○石原委員 ここでのこの委託の対象となるのは、どこどこになるんですか。

○波多野公民館活動課長 市民センター、日生、吉永、大きい3館が対象でございます。

○石原委員 まあまあ費用抑える努力も必要でしょうけど、じゃ教育委員会のみならず、もう全市的な取組として職員でできるところはこの委託料を抑えていこうという中で、大きく目立ちましたんで、減額の度合いが、どうなのか、何か特別の事情等あったのかなと思ったんですけど、もう全庁的な取組の中でのあくまで一つですよということよろしいでしょうか。

○波多野公民館活動課長 全庁的な取組に公民館のほうも同じように同調したということでございます。

○竹林教育総務課長 先ほど高等学校費のところ、中西委員の質問にございました片高での電子黒板の整備について訂正させていただきたいと思います。

高等学校費の予算では上がってなかったんでちょっと勘違いをしたところがございますが、教育総務費の事務局費で一括して片高分も含めて予算計上しているということで訂正させていただきます。

○中西委員 やはりその全体の内訳が学校別に分かるようなものを出しとってもらうのが必要なかなと思います。この立川委員から御要望が出てますんで、ぜひこの委員会の中に出していた

だきたいなと思います。

○尾川委員 183ページの備品購入費の図書費が昨年、一昨年に比べて少し下がったんですけど、その辺の説明というか、11月議会のときに備前市、瀬戸内市、赤磐市、玉野市、和気町との比較の表をいただいて、その数字見たらその金額オンリーじゃないんですけど、やはり備前市が瀬戸内のざっくり半額だとか、赤磐市でも半額、玉野市でも300万円からの違いがあるんで、何でこう下げてきたのかなという感じがあるんですけど、100万円近く落としとんですけど、その辺説明願いたいんですけど。

○波多野社会教育部長 前年対比マイナス85万6,000円でございます。前年度から非常に問題になっておりますのは、閉架書庫といいまして保管場所がもう通路まで埋まっている状況で、いつでも持って帰っていただいて結構ですよというような形のキャンペーンをこの秋にもいろいろとやりましたが、保管場所不足と、それから新図書館建設に向けての本の整理を含めての調整というのもございます。私どもといたしましては、この令和4年度にまちじゅうどこでも図書館に御協力いただけるところが10か所以上、立候補、手を挙げていただいておりますので、まちじゅうどこでも図書館にその本を寄贈して回ったり、ただ単にもうそれは捨てるというのがどうなのかというところで、その本の整理を含めた調整のため新刊を中心にもうここまでにとどめておかないと運営が厳しいというところでこの予算になっております。

○尾川委員 私は新聞ばあ読むんですけど、今年1月に、これは学校の話なんですけど、要するに更新が進まんと、蔵書の数がある程度キープせにゃいけんから今話は何ぼでも持ってってくれえよという話もあるんですけど、やはり何か工夫して考えて金使えと言うんじゃねえですけど、良書というか、よい本をできるだけ旬な本を買って魅力ある図書館づくりを今からせんと、できたから本そろえるというもんじゃねえと私は思うとんで、しっかりその辺を入らんから買えんのじゃというて、早ういやばやきですけど、頭使うて工夫して何か考えてぜひ新しい、人が欲しい、読みたい本を準備してほしいということで、問題指摘させてもらいます。

○波多野社会教育部長 本の行き先、本の再利用というところと新しいものをどんどんそろえていくということに対しまして両輪で令和5年度は進めていかせていただこうと思います。

○中西委員 180ページの図書館費の需用費ですけども、その中で印刷製本費が今年度少し多めに計上されています。何かパンフレットとか出されるようなお考えがあるんでしょうか。

○波多野社会教育部長 例えば市民の皆さんが集まっていたいただいて頑張っていたいております、読書まつりのPRでありますとか、それから先ほども尾川委員からの御質問もございましたが、本のリサイクルの宣伝、それから一番は利用者カードのほうのストックが非常になくなりそうになるということで、1,000枚ほど追加発注、これが一番大きな理由になっております。

○松本委員 図書館の件ですけど、一般質問しました。さっき尾川委員も言われましたけど、本の入替について例えば工事だったらいろいろ、今年だったら何月までに何する、何する、どうの、1回私そういうスケジュールといいますか、仕事の段取りといいますか、出してほしい

と思うんです。言いつ放しで、やります、やりますじゃなしに、それともう一つは、それは備前のその中央図書館だけじゃなし日生も吉永も含めてぜひやってほしいと思うんです。でも例えば日生なんかでもいつ、あそこ1人おって誰がすんか、今のようなことをやります、やりますと言うても誰がするんかよく分からんし、だからそういう体制も含めてタイムスケジュールを含めてぜひ出してほしいと思うんです、やります、やりますだけじゃなしに。

○高橋図書館事業推進室長 即答はできませんが、私どもも開館に向けて必ずやらなければいけない作業というのがございまして、それが今松本委員御指摘のことも当然やらなければならないという認識はいたしております。

ただ、今スケジュールを出せと言われると、今後人をどう雇って、やっぱりマンパワーの確保というところで日生、吉永、さっき日生の話をされましたけども、ほんなら誰がするんならという話にどうしても行き着きますので、人員の確保も含めて目安を決めて、ある程度のところでスケジュール感をお示しできればと思います。今の時点で出せと言われても、私どもも計算ができておりませんので、そのときをお待ちいただければと思っております。

○松本委員 分かりました。今すぐじゃなくてもいい。例えば1年で大体するとか、2年後とか、大体そんなもんでいいですけど、ぜひ何か、どうもやります、やりますがむなしく感じるんです。よろしくお願いします。

○森本委員長 図書館費までです。なければ、次行きます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

182ページの4目文化財保護費、5目文化施設費、6目青少年対策費、187ページまで、別紙8を参考にしてください。

○中西委員 182ページの文化財保護費、委託料、ここが昨年と比べてぐっと半額に圧縮されています。1つつ言いませんですけども、どうしてこんなにここが圧縮されてしまっているのか、人員不足なのか、理由を教えてください。同時に、備前の歴史フォーラム委託料も落ちているので、それもどうしたのか、教えていただきたいと思います。

○畑下教育文化振興課長 こちらにつきましては、国からの補助等いただいての測量委託とかもありますので、そちらの金額が大きかったですので、今回国からの補助をいただいているのが測量調査設計委託料559万6,000円のみですので、一番数字が落ちた原因はその部分だと思っています。

それから、歴史フォーラムの委託料についても落ちておりますが、こちらにつきましては今文化財もメンバーが新人が多いもので、なかなか以前やっていた詳しい者が抜けておりますので来年度は難しいかなということで、令和5年度については予算計上しておりません。

○中西委員 課長おっしゃらなかったんですけども、例えば昨年度は文化財調査委託料が621万5,000円あるんです。だから、測量調査だけでなく、ほかのものも減っているんです。ここはやっぱり少し体制を立て直す必要があるんじゃないかなという感じを、私は受けていま

す。特にやっぱり人的な部分です。これは真剣に考えていただきたいと思います。その中で、片上のだんじりはこの総合文化財調査業務委託料の中には今年もこの5年度も入っていますか。

○畑下教育文化振興課長 これにつきましては、今年度も民俗調査の委託料をいただいて行っておりますし、来年につきましてもその民俗調査の中でだんじり含めまして調査していただくための委託料でございます。

○中西委員 下の負担金補助及び交付金、イベント参加負担金200万円は何でしょうか。

○畑下教育文化振興課長 北前船の関係で北前船のフォーラムが令和5年度岡山で開催されます。それに対しての負担金でございます。

○立川委員 11節需用費の中で、修繕費5万円というのがあります。それが16節原材料費3万円、維持補修等原材料費ということで上がとんですけど、3万円、修繕の費用で全部一括でいけないんですか。それとも、私のところはしませんよ、あんたところ材料だけ、ペンキだけやるからしなさいよと分けているんでしょうか。そんな案件があるんでしょうか、併せて。

○畑下教育文化振興課長 職員でできない部分の修繕につきましてはどうしてもこちらの修繕料ということを使わせていただいて計上しておりまして、原材料費につきましてはそういう原材料を購入することで対応できるような修繕につきましてはこちらの人員を使って修繕というか、それでできるものあればそれで対応していきたいなと思って上げております。

○立川委員 修繕料一括でええような気がするんですけど、意図はよく分かりました。

○丸山委員 183ページ、19節負担金補助及び交付金の指定文化財補助金を少し説明してください。

○畑下教育文化振興課長 187万1,000円のうち、市の指定の文化財について管理していただいているところに支払いをします補助金が75万1,000円と、それから昨年度上げておりまして大滝山の防災設備の関係で令和4年度県の補助金がついてなかったということで執行できませんでしたが、令和5年度につきましては県とも確認いたしまして補助金がつくということで本年度計上させていただいている分が112万円ございます。

○丸山委員 ありがとうございます大滝のやつは書いとったんで、そのほかが何かと思って。

○中西委員 184ページの負担金補助及び交付金、地域連携研究所賛助会費というのが120万円あるんですけど、これは何なんですか。

○畑下教育文化振興課長 こちらにつきましても北前船の関係で、地域連携研究所の自治体の会費になるんですが、年間1口5万円なんですが、これにつきましても来年度北前船のフォーラムが岡山でございまして、今年度につきまして少し口をたくさんにして上げております。

○中西委員 イベント参加負担金が大体200万円あって、なおかつこの地域連携研究所賛助会費が120万円というのは、何かどうなのかなとは思いますが、こんなにも出さなあかんもんなんですか。

○畑下教育文化振興課長 この北前船のフォーラム、全国から北前船に入っておられる方がたく

さん来られてやるものなので、結構負担がかかっているものです。

○中西委員 備前市の自治体クラスで、この120万円ぐらいは出しているわけですか。

○畑下教育文化振興課長 この連携研究所に聞いてみないと分からないんですが。

○中西委員 備前市が財政的に豊かであるということを示すのはいいかもしれませんが、120万円出すだけの根拠というのはきちんと議会にも示す必要があるんじゃないかと思うんですが。

○畑下教育文化振興課長 お話しできる部分でまたお話ししていきたいと思います。

○中西委員 きちんと大体120万円が妥当な金額なんだというものを出示してください。

○畑下教育文化振興課長 調査いたします。

○中西委員 少し予算の審議をやっている中で言えば、大変まずい答弁だと思うんです。やはり出す以上はきちんとした根拠を示して出していただきたいのと、これはもう少し部長の答弁をいただいときたいと思います。

○波多野社会教育部長 今までのフォーラムをやっているところで負担をしている中で、これくらいというようなことで、2月の初めの予算計上のときにはまだ具体的な負担額は決定されていないけども、従来やっているフォーラムに即して負担を求めたいというような岡山市からの返事で上げたものでございます。その中でも、大体今まで100万円から150万円ぐらい寄港地の参加自治体あるいは参加商工会もそういうような、それくらいの値段の負担を集めていたということで計上をしております。そこからの発展につきましては、どれくらい煮詰まったのかということも含めまして、早いうちにこの予算委員会で示させていただきます。

○松本委員 何のフォーラムで何を話するかというのがよく分からないんですけど、それとこれの主体はみんな協力するんで、これ備前市ですか、岡山市ですか、どこが中心になって。

○畑下教育文化振興課長 受けられたのは岡山商工会議所なんですが、こちらと、それから倉敷市、岡山市、瀬戸内市、備前市で実行委員会を組みまして、そちらが主体となる予定です。

○松本委員 そしたら、今出た市町村、村はないけど、そういうところが分担して例えばこの100万円ちょっとですか、もう1,000万円以上、そんなにこの何をするんですかということと、ただ話合いをするだけならこんなに要るのかなと思うんですけど、どうでしょうか。

○畑下教育文化振興課長 話合いというよりも、皆さん集まっていいただいて北前船に関する講演会、それから北前船に入っているところが一体どういう地域かというのを分かり合うというか、そういう形でのフォーラムでありまして、それからこちらで開催する際につきましてはこちらではどういうものがあるのかというのを皆さんに見ていただくような形のフォーラムでございます。

○松本委員 それにそんなに金かかるのかなと、不思議ですけど、まあいいです。

○藪内委員 今も岡山、倉敷、瀬戸内、備前ということで、岡山県で開催ということで、この4市がするんでしょうけど、大体ここで負担を分けるわけですね。

○畑下教育文化振興課長 そのとおりでございます。

○中西委員 文化施設費の委託料、警備委託料が今年度少し上がっているような感じがするんですけど、この理由は何でしょう。

○畑下教育文化振興課長 この警備委託料は多分ミュージアムの分と一緒に上がっているんですが、うちの文化施設もセコムがありますが、特に文化施設としては上がっていないと思います。

○森本委員長 こちらのほうでは、上がっていないということですね。別紙8を見てください。数値的なものが出ていますので。ほかに。

○尾川委員 北前船関係で今も話聞きましょうたら、イベントで200万円、北前船日本遺産推進協議会で50万円、地域連携研究所賛助会費が120万円、合計370万円、これは要するに岡山で大会が開催されるからの金額で、フォーラムがやらん来年についてはどのくらいになると見たらええですか。

○畑下教育文化振興課長 北前船日本遺産推進協議会負担金の50万円だけになると思います。

○中西委員 この北前船の協議会に岡山、倉敷、瀬戸内は入っているんですか。

○畑下教育文化振興課長 北前船のこの協議会自体に入っているのは、うちと倉敷市だけです。日本遺産の認定、追加認定でうちも入りまして、倉敷市はそれに入っております。

ただ、岡山市と瀬戸内市は入っておりません。

○中西委員 その日本遺産のこの推進協議会に入っていないくて、北前船が岡山でフォーラムが岡山で開かれると。

○畑下教育文化振興課長 そういうことでございます。岡山市が今年度追加認定で入る予定で計画されておりましたが、今年度は北前船さんも更新の年になりますので、そちらの更新のほうに力を入れるということで、来年度入られるのは見送られています。

○森本委員長 次進んでよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次188ページから7項保健体育費で、最後193ページ、最後まで行きます。

2項の基金費、1目積立金までを範囲とします。

○尾川委員 189ページの負担金補助及び交付金、えびす駅伝競走大会補助金はどうも下がったと思うんです。あれだけの大会で下げていくという、ちょっとその辺の感覚というのはどういう思いで下ぎょんかなと思って詳しゅう、いろんな総花的に行事やりょんのに、こういう元からしっかりした大会を奨励せんというのもおかしいんじゃないか、倍にせいと言やへんですけど、下手に下げたりしてどんな考えしとんですか。

○波多野社会教育部長 えびす駅伝競走大会は、そもそももう体育協会が主催で独立予算運営で行っていた大会であります、その後交通事情が悪化してガードマンを多く雇う、あるいは変則的な通行止めを行わなければならないということで予算がかさんで60万円の補助金をいただいていたところでございます。そこが警察署の強い指導を受けまして、完全通行止めを実施した上

で大会を行いなさいという指導の下、鶴海のほうまで行かない、昔21キロ以上行っていました、今は14キロ、久々井周辺の往復のコースになりましたので、しかも完全通行止めをする、あるいは陸上競技場の写真判定装置を存分に使うということで人も減り、それからガードマンも減り、この額でも今年余剰金で市に戻すお金が出ると思いますので、十分に参加料を取って43万円の補助をいただいて運営できると踏んでこの額の計上でございます。

○尾川委員 気持ちは分らんことはねえけど、そんなことせんほうがええんじゃねえかとわしは思うけ、もっと奨励して記念品でも参加者にきちっと出しちゃって、もっと盛大にやりやええと思うんじゃけ、その辺はどうなんですか。

○波多野社会教育部長 今年の大会でやはり参加者から聞かれましたのは、あの豚汁が食べたくて来ているんだというような声をいろいろ聞きました。ぜひコロナが明けまして体制が整えば、豚汁サービスを踏まえ、また倉敷高校等有名校と一般の市民ランナーと一緒に走るというのも醍醐味でございます。その醍醐味をさらに前の状況に戻すべく、来年2月の大会はキーになる大会だと思いますので、そこでぜひ71回目、新たなえびす駅伝の歴史を刻みたいと思っております。

○尾川委員 いや、別に豚汁せいと言よんじゃねんじゃ。やっぱりそれだけのコースでももっと検討するとか、そりゃウィンブルドン大会で倉敷高校ばあ勝つから面白ねえと言うもんもおるんじゃけど、これだけの大会の駅伝が少のうなとんじゃから、それをやらせてもらようということ、しっかりした運営をしてもっとええコースにして、できるだけ事故のないようなコース取りをするようなことも考えて、それで金がどうか知らんけど、そういうことを考えて費用もちゃんと出して文句言わんから削りやええと言うんじゃねえけど、もっときちっと倍も3倍も出せと言やへんよ。ちゃんとした形で、もう駅伝というのはほとんどねんじゃから、箱根駅伝だってあれでもうやめたんじゃから、一遍。車止めるということに抵抗物すごあるから、一般人は、じゃからそれを何とか広報したり、いろんなそういう金に使うて続けるように努力してほしいなというのが願いです。

○波多野社会教育部長 もちろんにぎやかで地元の人も参加し、よそからも人にいっぱい来ていただくというのが私どもの願いでございますので、まずは今余剰金が出ている分、それをけちるというわけではありませんが、補助金もいただいた上で参加費もいただいた上で71回目をやってみて、そこでもう事務局としましても9月頃からスタートして、ここの部分はやはり要るんじゃないかというようなのを踏まえたら、来年度の予算に反映したいと思います。

○藪内委員 本当このえびす駅伝というのは有名で、皆さんも期待していますし、私の知り合いも全国のいろんな大会へ出るような人も今年から参加してくれまして、やっぱりいろんな期待があるんです。ですから、お金どうこうけちる、けちらないじゃないですけど、やっぱりもっと盛り上げて大きな大会にして、備前市にえびす駅伝ありみたいなことをやってほしいです。大体のことは先ほど聞きましたけど、もう一言あれば。

○波多野社会教育部長 実は昨年度、中止をぎりぎりに決める前は130チームの応募がありました。これはその前の冬までに大分コロナが落ち着いたんじゃないかというところで、期待値を込めて申し込んできたところ、オミクロン株で10倍ほどの患者さんが出たというところで取りやめになったんですが、その経緯もありまして今年95チームに終わっていると思います。

ただ、来年につきましてはこの時期、中学校も駅伝はありませんので、当然高校も駅伝はありませんし、一般の方でもやはりどちらに参加したいかというところとたくさん人が出る場所に参加したいというのは気持ち持ってらっしゃると思いますので、来年は元の120から130チーム参加いただいて、にぎやかにやりたい、もっとえびす駅伝のよさも事前にPRしていきたいと思っています。

○中西委員 188ページ、体育施設費委託料、体育施設の指定管理料が出ていますけども、昨年と見ると250万円ぐらい指定管理が上がっているんですけど、この上がった理由は何でしょうか。

○波多野社会教育部長 上がった理由につきましては、物価の高騰、とりわけ燃料費、電気代の高騰を加味させていただいた次第でございます。

○立川委員 2目の体育施設費で15節工事請負費3,000万円、施設整備工事、併せて17節の公有財産購入費1,650万円、これ片上の多目的広場ということなんですが、大変申し訳ないんですけど、広さも分からない、図面もない、これ出されましたでしょうか。

○波多野社会教育部長 まずは、所管のほうが土地特別会計の補正予算でついたものでございますので、**修正図**、それから土地図面は今こちらにありますので、そちらの委員会で示されてなければすぐコピーをして回させていただきたいと思います。広さにつきましては5,379平米でございます。

○立川委員 単価は割り算して出します。ということで、できるだけ皆さん分かりやすい資料おつけいただいたらありがたいなと思います。

それで、これ多目的広場ということで、以前購入した分の拡大と言うたらおかしいですけど、前段差があるよとか、いろんな問題があったところの分やと思うんですが、結局どういう工事になるのでしょうか。3,000万円というたらかなり大きな工事じゃないかなと思うんですけど、概要について。

○波多野社会教育部長 公有財産購入費については、今土地の特別会計にあるものをこちらに買い戻すといった予算でございます。新たに購入するものではございません。

この跡地の工事の概要でございますが、造成工事が1,500万円、それからトイレ整備工事費が1,500万円の3,000万円でございます。跡地を例えばサッカーのグラウンド専用とか、グラウンドゴルフの専用とかするのではなく、イメージとしては備前市の久々井にあります第3運動公園のように、あくまで土地を造成するだけでかさ上げをするものでもございません。多目的の広場として、いろんなことに利用していただくための造成費用でございます。

○立川委員 造成1, 500万円、トイレ工事が1, 500万円、概要ですけど、これで3, 000万円、土地代の購入は特会からの買戻しということですね。そしたら、これ工事が進んだ後の管理はどないされるんですか。地元ですか。

○波多野社会教育部長 モデルといたしましては、久々井の第3運動公園先ほど出しましたが、ここも基本的には地元管理をしていただいておりますが、それは使用についての管理だけ行ってもらっておりますので、例えばそこに必要なもの、それから例えば草枯らし等費用がかかるものについては市で負担していく予定でございます。

○立川委員 窓口は地元ということで、しっかりと了解を得てされたいと思います。鹿のふんだらけにならないようにだけお祈りをします。

○中西委員 その地元が管理をするということは、どこが管理をするんですか。

○波多野社会教育部長 できれば自治会さんをお願いをしたいと思っておりますが、地元自治会のほうもこの多目的広場については賛成で推進していただいております。まずは自治会とお話をさせていただいた上で、管理について進めてまいりたいと思っております。

○中西委員 地元に出すのは草枯らしとか、そういったいわゆる現物支給みたいなものだけですか。

○波多野社会教育部長 今のところ遊具は置いておりませんので、例えば遊具なんか置いていくとしましたら、その点検費用とか、そういったものも必要になってくると思います。それから、トイレにつきましても、久々井の第3運動公園にありますトイレはトイレトペーパー等を見回りして地元にならせていただいておりますので、そういった必要なものにつきましては市のほうで支給、あるいは例えば災害で崩れる、そういうことがあっちゃいけません、もしも大きなお金が必要なことがございましたら、これは市で負担という形になります。

○中西委員 じゃ、トイレはボランティアで掃除をするということになるわけですか。

○波多野社会教育部長 常時子どもがトイレを見て回るというわけにはいきませんので、それは地元と協力しながらという形で第3運動公園と同じやり方していきたいと思っております。地元の人にしろというようなことではございませんが、そのあたりは自治会と折り合いをつけていきたいと思っております。

○中西委員 トイレは、どのくらいの規模を考えておられるんですか。

○波多野社会教育部長 JR香登駅に設置しておりますトイレの規模を考えております。

○中西委員 男女別でいくと、幾つ幾つぐらいになるんでしょう。

○波多野社会教育部長 男子トイレ、女子トイレ、それから障害者用のトイレ、それぞれ1基ずつの予定にしております。

○中西委員 造成は段差を残したまま造成をする、つまり横と擁壁と柵はするということですか。

○波多野社会教育部長 段差は残したままというような土地特会のときの総務課の答弁もあった

と思います。水路と、それから擁壁についてはやはり水ははけなければいけませんので、それは含んだものでございます。

○**中西委員** たしか段差には横に水路があつて、この水路も直さない、フェンスはするということですか。

○**波多野社会教育部長** フェンスまでできればよろしいんですが、まずはもう造成と、それから水はけ、それから擁壁をする予定にしております。

○**青山委員** 最初はサッカーも使うということで、少年が主にあそこを使わせていただいてんで、先日サッカーゴールも買っていただきました。そういう関係でいうと、やはり大きさにしっかりカバーできるのか、それからボール蹴りますからフェンスのようなもの、そういったようなものをつけていただけるのか、その辺はいかがですか。

○**波多野社会教育部長** サッカーもそうですが、やはり隣の保育園跡地でやっている平日の昼間というのはゲートボールやグラウンドゴルフもできるような、またサッカーがやらないとき、例えば土日でイベント広場で使っていただいても結構ですので、ただサッカーボールを蹴るということに関してはボールの保護策について、それは工事の中に組み入れていく必要があろうかと思っております。

○**青山委員** ぜひその使われるところを、もちろん管理については自治会ということなんですけど、やはり使うところもしっかり管理していただくような、使い勝手のいいようなところは使われる団体との話し合いもしっかりしていただけたらと思います。

○**波多野社会教育部長** やはりやる側の意見、それから使わないとき、順番等については地元ということで今考えております。そういった使う側、それから管理する側、それから市の立場、これを全てクリアしながら、これから臨みたいと思っております。

○**石原委員** 先ほどの17節、191ページの公有財産購入費で土地特会から買い戻すと、あの公園広場、多目的広場整備用地ということで買い戻すことで、先日のそういえば土地特会でも歳入がされておりました。こちらの土地、先ほどございましたけれども、五千幾ら平米をたしか土地の特会で1,000万円で購入をされていたものが、今度ここで一般会計で買い戻す際にはこの金額で買い戻されるということで、僕その財政的な仕組みとか、そういうところはよう分らないのですけれども、一般会計で買い戻すときの何というんですか、算出根拠というんですか、その金額の出し方とか、もう一個の鶴海の宅地を買い戻すときには、ちょうどの金額3,000万円で買い戻されていて、こちらの土地はたしか特会でも1,000万円の予算で購入予算出ったと思うのですけれども。

○**波多野社会教育部長** 私どもに買戻しの予算を当初でということにつきましては、この1,650万円の内訳は用地代が1,593万円、それからそれに諸経費が約50万円ということで予算計上をしてほしいということで、私どもはこの金額を計上している次第でございます。

○**中西委員** 190ページ、学校給食費、需用費、賄い材料について説明してやってください。

○竹林教育総務課長 学校給食の材料費でございます。

小学生分として7, 200万円ほど、中学生として3, 600万円ほど、教職員分として2, 000万円ほどのトータルでの計上になっております。

○中西委員 昨年度令和4年の当初予算にはなかった金額で、令和5年どうしてこの金額がここへ上がってくるんでしょうかという。

○竹林教育総務課長 令和4年度の当初予算につきましては、そのときの学校給食費、給食費を支払った保護者に対する補助金の形で一旦は計上しておりました。6月補正予算で、その給食費補助金から賄い材料費に組み替えをさせていただいております。そういったところで、前年の当初予算としては計上しておりませんが、令和5年度の当初予算としては賄い材料費で計上しているところでございます。

○中西委員 この賄い材料費という支出をするときの財源は、これ何でもって充てているんでしょうか。

○竹林教育総務課長 今年度につきましては、まちづくり応援基金でございます。それと、教職員分につきましては、教職員の給食費徴収金が充当されております。

○立川委員 需用費のところのその賄いの上なんですけど、修繕費が695万9, 000円計上されております。ターゲットをどこに絞っておられるんですか。

○竹林教育総務課長 給食運搬車の6台ございます車検等の修繕経費、それから設備機械等の修繕対応として確保しているものでございます。

○立川委員 車両が主ということで、関連になりますが193ページ、備品購入費で759万9, 000円、調理場備品が上がっているんですが、これもターゲット絞っておられたら教えてください。

○竹林教育総務課長 こちらにつきましては、予算参考資料にもございますように伊里共同調理場のスチームコンベクションオープンのほか、日生共同調理場の給食の配缶用のトレイなどの備品を予定しております。

○森本委員長 次に行かせていただいてよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは次、歳出終わります。

次、予算書の8ページを開いてください。

第3表の債務負担行為です。所管別分類表は1ページを開いてください。

表の左側に文教と記載のあるものが本日の対象範囲です。

質疑のある方は挙手をしてください。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、全体を通して。

○青山委員 193ページ、諸支出金の積立金、25番の積立金の学校教育振興基金積立金、こ

れ昨年が1, 500万3, 000円あったのがこれ1, 000円になっているんですけど、この理由を教えてください。

○竹林教育総務課長 昨年度は、ふるさと納税からのまちづくり応援基金から1, 500万円、各小・中学校15校に対しまして各校100万円として学校応援事業に使える分としまして学校教育振興基金に積み替える形で予算計上をさせていただいているところです。令和5年度につきましては、その基金の利子分だけの計上になりますので1, 000円として計上しております。

○青山委員 記憶が薄いんですけど、この100万円、各校100万円ずつというふるさと納税、これの使い道は何だったですか。

○竹林教育総務課長 各学校で希望を調査しまして、それぞれの学校で新たに必要とされる備品ですとか、そういったところで補正予算計上して執行しているところでございます。

○青山委員 今年度は、もうこういう備品に充ててくださいというものになる、やってないということよろしいですか。

○竹林教育総務課長 5年度につきましては、計上しておりません。

○石原委員 106ページからの保育幼稚園費の児童福祉の中のところで少し確認をさせてください。

概要の中でも新規の事業として保育材料費、保育園、こども園の保育材料費の負担を免除する制度を創設するための1, 672万4, 000円予算額がありますけれども、これはここの需用費の中の消耗品費のうちのこの金額でよろしいでしょうか。

○竹林幼児教育課長 1, 988万1, 000円のうち1, 672万5, 000円程度、こちらが保育材料費ということになっております。

○石原委員 108、109ページの委託料の中の測量調査設計等委託料750万円がございすけれども、こちらについて御説明をいただければと思います。

○竹林幼児教育課長 香登認定こども園につきまして、今後こういった整備方針が検討できるかというところでのいろいろな手法を比較検討していきたいというところでの調査費用ということをお願いしております。

○石原委員 これはあくまで想定ですけれども、例えば大内の保育園、極端な話、西鶴山のことも考えたりして思い描いていくのか、現時点での想定お聞かせいただければと思うんですけど。

○竹林幼児教育課長 現時点におきましては、香登地区というところで香登、それから大内というところの今後の動向も見ながらというところで検討していきたいと考えております。

○石原委員 それから、先ほど小学校、中学校のところで申し上げましたけれども、くれぐれも現場の先生方、それから当事者、保護者であったり地域であったりというところの意見もしっかりとお伺いをされながら、決してこちらが突き進むのではなくて、しっかり連携協調を図って進めていただくことをお願い申し上げます。これお願いです。

保育料と給食費と学用品費の無償化について無償化事業というお題目がついておりますが、せ

んだって提案されて委員会では可決した3本の条例案、あれを見る限りは無償化事業ではなくてマイナンバーポイント取得児童無償化事業じゃないのかな、無償化事業ではなくて一旦頂戴しますよ、だけれども要件を満たした方ということでお題目も変わってきたのかな、ニュアンスがという捉えておりますのと、それから一貫して令和5年予算可決され条例が整えば令和5年4月1日からということですよ。新年度新学期早々からスタートということで、せんだっての委員会で23日が最終日で、何か24日に教育委員会会議を開いて中身を詰めて制度設計をされて即座に保護者の方向けに、小学校、中学校、今度保育園、こども園もですよ、もし可決されれば。給食費、学用品費もありましようから、とてつもない量の事務作業を僅か1週間、短期間の間にやっていくのかな、すごい何かちょっと不安というか、こちらは大変でしょうしと思うんですが、一つの考え方として考え方なんですけれども、もし可決後の、今の議会の情勢見れば思い描くんですが、可決された後のその執行のところ、執行というか、一つの選択として令和5年度の事業として、それは十分体制整えてそのまま行けばええですけど、やはりこれだけ注目を集めとったり、いろんな混乱が生じ得るような事業ですけども、一つとしてじゃ、令和5年度の予算の中でスタートをしっかりと体制を整えて周知もされて、例えば2学期からとか、6月からとかというような少し幾ばくかの期間を置いてスタートすることは、その選択肢の一つではあります。参考までに。

小・中学校のほうなんかでちょっと心配なんですけど。

○竹林教育総務課長 議決前なので各委員の方からすればどうかと思われるかも分かりませんが、できる準備というのは今でも着々とできるところだけやっているというようなところでございます。例えば申請書類の様式を考えていくというようなことだと、今でもやっておりますし、こういった案内文にしようとか、そういった内容を詰めていくという部分におきましては、議決前ではございますが準備はしているところでございます。実際にそういった書類の印刷ですとか、そういった封筒の準備、そういったところというのは後回しにしながら、できるところでやっているというような状況でございます。申請受付そのものも一斉に全部、全員分が出てくるとは思っておりませんので、いずれにしても申請自体が4月以降順次行われるだろうというところもございますので、そういった事務処理につきましてはおいおい日々追いかけていくような形になろうかと考えております。

○石原委員 兄弟の子供さんの人数によって数年前にスタートしたのがあったじゃないですか、制度が変わって当初の予定より。あれも年度途中で制度設計されて、じゃ、この形で行きますよのときに、4月に遡っての対応もあったじゃないですか。じゃから、そういうことも一つ選択肢なのかな。それから、参考までに1年前に全額になったじゃないですか、給食費が。加えて学用品費も小・中学生、補助金の形で交付になりましたけれども、参考までに1年前のそのときはこの2月議会閉会后、予算可決後、同じように直ちに保護者の皆様向けに御案内を出されたんですか。そういう経験がおありで、どんなのかなと思ひまして。

○竹林教育総務課長 学用品の無償化につきましては、6月1日以後で、学用品の準備等が完了して手続等をしたところでございます。

○石原教育振興部長 ちょうど1年前の制度設計から申し上げますと、イメージとしては令和4年度の事業執行に当たっては令和3年度まで行っていた多子世帯への補助のイメージを我々もイメージはさせてもらってたんですけども、つまり一旦はお支払いをしていただいて、保護者の方に、後から補助金を打つというのが多子世帯、令和3年度まで行っていた制度でございました。そういうイメージで我々も実質的な無償化というので4年度行こうとしたんですが、やはりその一時的に御負担をしていただくということが保護者の方々にとってどうなんだろうかと、つまりはもう完全無償化ということなので、一時的にでもお支払いをしていただくところがまた御負担になってしまうということから、現在行っている4年度の事業というのはいま全くお支払いを求めないという形が今の現状スタイルでございます。そういう形で、いきなりすぐにもう4月からこうやりますよというような御通知も、4月の時点ですぐそういう御通知を出せたかというところ、出せておりませんでしたので、後追いのような形で今年度もスタートしたというのが実情でございます。保護者の方々に、実際にそのような声も私どものところにも入って来たりはしておりましたので、内部でもいろいろ協議を重ねた上でそういう判断をさせて今現状に至っているというところでございます。昨年度、1年前の状況というのは、そういう形で行ってまいりました。石原委員からいろいろ御示唆をいただいているというものは、いろいろ御心配をいただいた上でのいろいろな御意見ではないかなと思っております。

先ほど教育総務課長が申し上げましたように、できる範囲の中での準備というものは進めてはおりますけれども、非常に限られた日数になっておりますので、今後のことを想像しましたときに、あらゆることを想定しながら事務に取り組んでいるという状況でございます。いろいろ御心配をいただいている点踏まえて準備に向かい、また学校現場や、それから保護者の皆様方に不必要な混乱がないような形で進めてまいりたいと思っております。

○中西委員 106ページの保育幼稚園費の報酬、会計年度任用職員報酬というのは昨年度から比べますと大体700万円ぐらい減っているんです。なおかつ給料のところを見ますと、一般職の給料はここで700万円ぐらい増えているわけですけども、あと会計年度任用職員給料は少しここも1,000万円ほど、900万円ほど増えるわけですけど、最終、12号の補正予算からしても、保育士さんが十分採用できないというようなこの報酬、給料のところのような感じがするんですけど、これで市民の皆さん、子供さんが保育園入所して十分やっていけるのかどうか、また当初から積み残しが残るのかどうなのか、大変危惧するところですので、このまず報酬と給料のところから保育士の確保、十分足りるのかというところでお聞かせ願えたらと思います。

○竹林幼児教育課長 まず、正職員の積算ですけども、12月時点での人員、それから採用見込み、その時点で決まっている定年退職等も踏まえて人数の積算をしております。こちらの人数に

つきましては、昨年度比で保育士でいうと2名程度増加というような積算になっております。また、会計年度任用職員、こちらにつきましても現在の人数見込みがございます令和4年の人数にプラス10名程度の上乗せを採用ということを見込ませていただきまして予算計上させていただいております。そちらの採用確保に努めていきたいと考えております。

○中西委員 これが確保できれば、できればというて今の時点でもうそれ確保してないと難しいわけですが、保育所に入れない、保育園に入れない子はないと思っていいですか。

○竹林教育総務課長 そちらの確保に向けまして、人事部門等とも協議のほう進めて処遇改善あたりも検討をさせていただいているところでございます。その辺も踏まえて、さらに関係機関等への依頼も強めて確保のほうに努めていきたいと考えております。

○中西委員 確保に努めていただくというところではなくて、ここに上がっている人数分が確保できれば、ここにある予算書が可決されれば、そういう保育園に入れない子はいないと、みんな入れると思っていいのかなのか。

○竹林教育総務課長 そこを目指して、やっていく予定でございます。

○中西委員 ぜひ努力をお願いしたいと思います。

その下の需用費、賄い材料費、この説明と財源を教えてやってください。

○竹林教育総務課長 賄い材料費7,150万円程度でございますけども、このうち園児の賄い材料費が5,581万1,000円でございます。こちらにつきましては、来年度まちづくり応援基金で対応を予定しております。

○中西委員 その残りは。

○竹林幼児教育課長 残りは、職員用の賄い材料費になります。

○中西委員 ここは保育園だけでなく、幼稚園も含んだ金額と思ってよろしいですか。

○竹林幼児教育課長 保育園、こども園関係でございます。

○中西委員 続きまして、108ページ、ALTの配置事業委託料、これは予算ですから、まだどこが取るかということは分からない。しかし、もう既にこれは恐らく取るところは決まっていると私は気持ち的には思っているんですけども、このALTの配置事業をプロポーザルでやっておられるんですけども、実績のないところでもこれは取れるのでしょうか。

○竹林幼児教育課長 こちらのALTの配置事業につきましては、11月補正予算かと思いますが、債務負担行為の承認をいただいております。それをもって、先日プロポーザル等も開催して、業者決定というような選定を行っているところでございます。

○中西委員 私は5年度の予算を伺っていますので、4年度の予算についてはここでは伺うことができません。しかし、この恐らく5年度のALT配置事業もプロポーザルでされるだろうと、しかし実績のないところをどうしてプロポーザルで選ぶのかというのを伺っているんです。実績がなくてもプロポーザルに合格すれば、当然入札の対象になってきますよというのかなのか、そこのところをお伺いをしているんですけども、いかがでしょうか。

○竹林幼児教育課長 債務負担行為で認めていただいたというのが、こちらの債務負担行為を設定した分についてこの令和5年度の当初予算で計上させていただいているということで、同じ対象のものとなります。そちらの債務負担行為をもって、手続を進めているというところでございます。また、業者につきましては、条件を満たして応募いただいて、その中で評価項目等を審査の上、決定をさせていただいているところでございます。

○中西委員 開示請求で私も見させていただきましたけども、結局は3年度については実績のないところに落ちている、4年度は備前市だけの実績があるところに落ちている、5年度もそういうところがプロポーザルの参加資格があるのかどうかを聞いているんです。

○竹林幼児教育課長 今年度令和4年度から開始をさせていただいております、6月からになりますけども。そちらの業者選定ということになります。

○中西委員 そういうことを聞いているわけじゃないんです、私は。私が伺っているのは、実績のないところでもプロポーザルで取ることができるかどうか、それについての返事がないわけです。同時に、このプロポーザルをやる場合は、学校の場合は小・中8人でしたけど、たしかこのALTの配置は6人だったと思うんですけども、中を見て園長さんと、あと教育委員会の職員さんだけでやっていると、外部の者がどうして入らないのかということが気になるんですけど、今度の5年度の予算はそういう選考委員というのは少しお考えになっておられますでしょうか。

○竹林教育総務課長 その令和5年度の事業に対するプロポーザルを先日実施をしております。

○中西委員 失礼しました。それも3人、園長さんと教育委員会、こういう者でやっておられるわけですね。

○竹林教育総務課長 トータル6名、そのうち教育委員会関係が4名、現場の園からお二人というところで実施をさせていただいております。

○中西委員 私はこの点については、やはりグレーな部分があってはならないと思っています。その点についてはいかがですか。

○竹林教育総務課長 プロポーザルにつきましては、評価項目等に基づき適正に審査を行っておると考えております。

○中西委員 その下の使用料及び賃借料、これもテレビの受信料が昨年度の予算が13万4,000円、今年度が14万3,000円、9万円違うわけですね。それと、テレビの共聴アンテナ使用料が15万6,000円、これも先ほどの三石のような話になるんでしょうか。理由をお聞かせ願いたいと思います。

○竹林幼児教育課長 テレビ受信料につきましては、園数等に変更ございません。単価の見直しというところで、9,000円増ということになっております。また、テレビの共聴アンテナ、こちらにつきましては学校と同じ要因になりますけど、三石の共聴アンテナ、こちらの使用料、それから改修時の負担金についてこちらで計上させていただいております。

○中西委員 テレビの受信料につきましては、9,000円アップになっている。これは単価の

見直しが行われたということですが、NHKの受信料が何か上がったんでしょうか。

○竹林幼児教育課長 本年度の実績で、計上させていただいているものと考えております。

○中西委員 この9,000円の差は何でしょうか。

○竹林教育総務課長 前年中に料金の改定で値下げになっています。値下げになったんですが、その値下げ分を令和3年の途中から値下げになっております。令和4年の受信料について、その3年中の値下げ分を還付するのではなく前払いしていますので、本来なら還付なり安くなるはずだったんですが、還付でなく翌年の受信料を減す形が取られておりますので、令和4年の受信料が本来の受信料より安かったということで、令和5年度に計上してある額が通常の1年分の受信料になっております。

○中西委員 ささいな金額のことと言えばそれまでなんですけど、やはりどこかで筋の通った話だけはしておく必要があるんじゃないかなと思います。

その下の償還金利子及び割引料、過誤納付金償還金、この理由を教えてください。

○竹林教育総務課長 過誤納金償還金36万円とあります。こちらにつきましては本年度も計上させていただいておりますけども、新型コロナウイルス感染症の関係で休園等実施した場合に保育料の還付を行っております。年度内には償還の還付を実施はしていきたいんですけども、どうしても翌年度に持ち越しになるようなケースが発生する場合に備えて、償還金の計上をさせていただいております。

○森本委員長 もうよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で議案第1号令和5年度備前市一般会計予算のうち、文教関係全ての審査を終了いたします。

今回は、あした15日水曜日午前9時30分から産業関係の審査を行いますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、これをもって予算決算審査委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午後5時45分 閉会